

HPバージョンコントロールエージェント

HP 部品番号: 367262-197
2008年11月
第 14 版



目次

1	製品概要	5
	このガイド以外の資料	6
2	開始するには	7
	Internet Explorerのセキュリティ設定	7
	ログイン	8
	VCAへのログイン	8
	ログアウト	8
	HPバージョン コントロール エージェントからのログアウト	8
3	ソフトウェアのナビゲート	9
4	ホーム ページ	11
	全体のソフトウェア ステータスの表示	11
	全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン	12
	インストールされているソフトウェアの表示	13
	HP ProLiantおよびHP Integrity Support Packの詳細の表示	14
	リファレンス サポート パックの表示	14
	ソフトウェアの表示/非表示	15
	エージェント設定の変更	15
	ソフトウェアの更新	17
	インベントリ データのリフレッシュ	18
	ソフトウェア ステータスの印刷	18
5	ログ ページ	21
	ログの表示	21
	単一のログ エントリの詳細表示	22
	ログの消去	22
	ログ設定の変更	23
6	トラブルシューティング	25
	HPバージョン コントロール エージェント	25
	アクセスの問題	25
	HP SIMの問題	25
	ログの問題	26
	印刷の問題	27
	ProLiant Support Packの問題	27
	エージェント設定のレプリケートの問題	27
	レポジトリの問題	27
	ソフトウェア インベントリの問題	28
	HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ	29
	アクセスの問題	29
	ブラウザの問題	29
	カタログの問題	30
	エラーの問題	30
	HP SIMの問題	31
	ログの問題	31
	事前設定の問題	32
	ProLiant Support Packの問題	32
	その他の問題	33

サービスおよびサポート	34
Windows イベント	35
7 ご注意	37
保証	37
米国政府ライセンス	37
著作権表示	37
商標表示	37
リビジョン履歴	37
ライセンス適用	38
ソフトウェアのライセンス	38
HPバージョン コントロール エージェント - 他社製品のライセンス	38
Apache	38
Apache license 2.0	38
GNU	41
GNU general public license	41
GNU lesser general public license	44
Carnegie Melon	48
Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University	48
Xalan	48
Apacheソフトウェア ライセンス	48
Microsoft	49
MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS	49
Visual C++ Runtime Files	56
OpenSSL	63
OpenSSLライセンス	63
Original SSLeay License	63
Zlib圧縮ライブラリ	64
zlib/libpngライセンス	64
用語集	67
索引	69

第1章 製品概要

HPバージョンコントロール エージェント (VCA) は、ユーザが、システムにインストールされたHPのソフトウェアおよびファームウェアを確認できるように、システムにインストールされるHP Insight マネジメント エージェントです。VCAは、HPバージョンコントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) に管理されているレポジトリを参照するように設定できるため、バージョンの比較およびVCAがインストールされているシステムへの、レポジトリからのソフトウェアの更新が簡単になります。

VCAは、単一のHP製システム用のバージョンコントロールおよびシステム更新機能を提供します。VCAは、ローカルシステムにインストールされている各コンポーネントを、個別のコンポーネントのセットまたはVCRMにリストされている指定されたProLiantまたはIntegrity Support Packと比較して、システムのソフトウェア ステータスを判定します。また、システム ソフトウェア ステータス アイコンの横にあるインストール アイコンをクリックすると、個々のコンポーネントまたはProLiantまたはIntegrity Support Pack全体を更新することもできます。

VCRMとVCAは、ProLiant Essentials Foundation Packに含まれている標準単一サーバ管理ツールのSystem Management Homepage (SMH) に統合されています。また、ProLiant Essentials Foundation Packに含まれているHP Systems Insight Manager (HP SIM) は、VCRMとVCAを使用して、ソフトウェアのバージョン管理、更新、およびソフトウェアに関連するタスクを簡素化します。

VCAは、WindowsおよびLinuxオペレーティング システムで利用できます。VCAは、SMHに統合されています。SMHは、VCAがインストールされているシステムの利用可能なソフトウェアのインベントリを表示するように設計されています。また、VCAは、VCRMによって管理されるレポジトリから、システム ソフトウェアのインストール、比較、および更新を行うことができます。

管理者またはオペレータの権限を持つユーザは、VCAにアクセスして、システムのソフトウェア インベントリを手動で維持管理できます。コンポーネントのインストールや設定の変更は、システムのログ ファイルに記録されます。VCAは、ソフトウェアインストールなどの動作を記録します。ただし、VCAが存在しないシステムで実行されたインストールは、このログに記録されません。

VCAを使って、選択したHP製デバイスにインストールされているソフトウェアや利用可能なアップデートを表示したり、インストールされているソフトウェアが、選択したレポジトリ内の最新のアップデートと同じかどうかを表示したりすることができます。さらに、VCAのブラウザ インタフェースを使って、リモートからシステムにHPのソフトウェアを追加したり更新したりすることができます。

HP SIMのエージェント設定のレプリケート機能を使用すると、VCAの設定によって複数のサーバを更新できます。**[エージェント設定のレプリケート]**機能について詳しくは、HP SIMのオンライン ヘルプを参照してください。

VCAには、次の機能があります。

- 「インストールされているソフトウェアの表示」 - 現在インストールされているソフトウェアの表示
- 「エージェント設定の変更」 - ソフトウェア アップデートを取得するためのリファレンス ポイントとしてのVCRMの選択
- 「全体のソフトウェア ステータスの表示」 - 管理対象ベースラインとしてのProLiantまたはIntegrity Support Packの選択
- 「HP ProLiantおよびHP Integrity Support Packの詳細の表示」 - バージョン コントロールレポジトリにあるProLiantまたはIntegrity Support Packまたは個別のソフトウェア コンポーネントの詳細の表示
- 「ソフトウェアの更新」 - バージョン コントロールレポジトリからのProLiantまたはIntegrity Support Packまたは個々のソフトウェア コンポーネントのインストール
- 「ソフトウェア ステータスの印刷」 - インストール済みソフトウェア インベントリおよびソフトウェア ステータスの印刷
- 「ログの表示」 - VCAログの表示
- 「ログの消去」 - VCAログの消去
- 「ログ設定の変更」 - 古いエントリを自動的に削除するようにログを設定して、管理者のメンテナンス作業を軽減する。
- 「ログ設定の変更」 - ログの設定の変更

システムのソフトウェアインベントリの維持管理に加えて、VCAは、HP SIMに統合されます。この統合により、管理者は、エージェントのソフトウェア更新機能を利用できます。

このガイド以外の資料

追加資料は、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp/servers/proliantessentials>に掲載されています。

関連項目

- ▲ ホーム ページ

第2章 開始するには

HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) とHPバージョン コントロール エージェント (VCA) の使用を開始するには、ご使用のマシンを正しくインストールして設定するために以下のガイドラインの手順に従ってください。

1. ご使用のシステムが最小要件を満たしていることを確認します。最小要件について詳しくは、バージョン コントロール インストール インストール ガイドを参照してください。
2. SMHをインストールして設定します。SMHについて詳しくは、*System Management Homepage* インストール ガイドを参照してください。
3. *HP ProLiant* および *Integrity Support Pack* を使用して、VCAをインストールするサーバからアクセス可能なマシンに、VCRMをインストールして設定します。1つのVCRMで多くのVCAをサポートしているので、ほとんどの場合は1つのレポジトリのみ必要です。ただし、大きな企業や分散している企業では複数のレポジトリが必要になる場合があります。
4. ターゲット システムに、VCAをインストールして設定します。VCAをインストールする前にVCRMをインストールすると、VCAの[エージェント設定の変更]リンクから指定したレポジトリのデータを使用するようにVCAを設定できます。VCRMのインストールについて詳しくは、バージョン コントロール インストール ガイドを参照してください。
5. <https://ホスト名:2381>にある *System Management Homepage* (SMH) をブラウザして、ログインします。
6. VCAが[エージェント設定の変更]リンクによって定義されたレポジトリによって提供されるデータを使うように設定します。

手順

- エージェント設定の変更
- ソフトウェアの更新
- インストールされているソフトウェアの表示

関連項目

- ホーム ページ
- ログ ページ
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン

Internet Explorerのセキュリティ設定

デフォルトでは、Internet Explorerのセキュリティ設定は、HPバージョン コントロール エージェントで実行されるいくつかの動作がブロックされてしまいます。Internet Explorerのセキュリティ設定を正しく設定するには、SMHのURLをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加してください。

SMHをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Internet Explorerで、[ツール]→[インターネット オプション]の順にクリックします。
2. [セキュリティ]タブをクリックします。
3. [信頼済みサイト]アイコンを選択します。
4. [サイト...]をクリックします。[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [次のWebサイトをゾーンに追加する]フィールドに、<https://ホスト名:2381>と入力し、[追加]をクリックします。
6. [OK]をクリックして、設定を保存して[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスを閉じます。
7. [OK]をクリックして[インターネット オプション]ダイアログ ボックスを閉じます。

関連項目

- ログの表示
- トラブルシューティング

ログイン

任意のネットワーク クライアントから、Webブラウザを使用して、*HPバージョン コントロール エージェント (VCA)* のグラフィカルユーザインタフェース (GUI) にアクセスします。サポートされているブラウザについては、*バージョン コントロール インストール インスタレーション ガイド*を参照してください。



重要: *HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM)* が設定されていない場合は、現在システムにインストールされているソフトウェア インベントリとファームウェア インベントリだけが[ホーム]ページに表示されます。VCA設定は、必ずすべての機能を設定してください。



注記: SMHで定義されている管理者またはオペレータの権限を持つログイン アカウントは、VCAのすべての機能にアクセスできます。

VCAへのログイン

VCAにログインするには、以下の手順に従ってください。

1. VCAにアクセスして、使用できるすべての機能にアクセスするには、**[管理者]**または**[オペレータ]**レベルのアクセス権でSMHにログインする必要があります。
2. **https://ホスト名:2381**にナビゲートします。**Anonymous**アクセスが無効になっている場合、**[ログイン]**ページが表示されます。**Anonymous**アクセスが有効になっている場合、**[SMH]**ページが表示されます。
3. ログインが完了すると、ブラウザのアドレス フィールドに**https://ホスト名:2381/vcagent**と入力してVCAを直接ブラウズできます。また、SMHから**[インテグレートド エージェント]**の下のHPバージョン コントロール エージェントリンクをクリックして、新しいブラウザウィンドウで開くこともできます。また、**[ホーム]**タブの**[バージョン コントロール]**ステータス ボックスからもアクセスできます。**[VCA]**ページが表示されます。



注記: SMH3.xでは、バージョン コントロール (VCAおよびVCRM) エージェント リンクは、**[ホーム]**タブにある**[バージョン コントロール]**ステータス ボックスにあり、同じウィンドウに表示されます。インテグレートド エージェントは**[Webapps]**タブにありますが、エージェントに使用できるリンクはありません。

関連項目

- 開始するには
- ログアウト

ログアウト

HPバージョン コントロール エージェントからのログアウト

*System Management Homepage*および*HPバージョン コントロール エージェント*では、約15分間何もしないと、自動的にログアウトします。

ログアウトするには、以下の手順に従ってください。

1. VCAを表示します。VCAバナーの**[サーバ名]**ホームページ リンクをクリックします。
2. 右上隅にあるサインアウト リンクをクリックします。
3. Webブラウザを閉じます。

関連項目

- ▲ ログイン

第3章 ソフトウェアのナビゲート

HPバージョンコントロール エージェント (VCA) は、タブの付いたページを簡単にナビゲートできるインターフェースを提供します。

- 「ホーム ページ」
- 「ログ ページ」

関連項目

- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- ホーム ページ
- ログ ページ

第4章 ホーム ページ

[ホーム] ページには、現在インストールされているHPのソフトウェアとバージョンが表示されます。
[ホーム] ページの内容は、*HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM)* の設定に依存します。VCRMとリファレンス サポート バック System Management Homepageの設定については、「エージェント設定の変更」を参照してください。

HPバージョン コントロール エージェントのホーム ページには、次の機能があります。

- 「全体のソフトウェア ステータスの表示」
- 「全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン」
- 「インストールされているソフトウェアの表示」
- 「HP ProLiantおよびHP Integrity Support Packの詳細の表示」
- 「リファレンス サポート バックの表示」
- 「ソフトウェアの表示/非表示」
- 「エージェント設定の変更」
- 「ソフトウェアの更新」
- 「インベントリ データのリフレッシュ」
- 「ソフトウェア ステータスの印刷」

関連プロシージャ

- ログイン
- ログアウト

関連項目

- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- ライセンス適用
- 全体のソフトウェア ステータスの表示

全体のソフトウェア ステータスの表示

[**エージェント設定の変更**]リンクを使用して*HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ*が設定されるまで、[**全体のソフトウェア ステータス**]のアイコンは表示されません。レポジトリが設定されると、[**全体のソフトウェア ステータス**]のアイコンは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンと設定されたVCRMで利用できる最新のコンポーネントの比較に基づいて表示されます。全体のソフトウェア ステータスは、[**エージェント設定の変更**]リンクを使用して定義される構成に応じて表示されます。Windowsオペレーティング システムでは、サーバソフトウェアのバージョンがリファレンス サポート バックのバージョンと一致しない場合、メジャー ステータスを表示するために[**全体のソフトウェア ステータス**]を設定することができます。レポジトリとリファレンス サポート バックの両方が設定されている場合、[**全体のソフトウェア ステータス**]のアイコンは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンとリファレンス サポート バック内のソフトウェアまたはファームウェアのバージョンの比較に基づいて表示されます。

[**全体のソフトウェア ステータス**]のアイコンについて詳しくは、「全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン」を参照してください。



重要: ソフトウェアのステータスは、インストールされたソフトウェアとレポジトリ内のソフトウェアの比較に基づいています。レポジトリ内に比較するソフトウェアがない場合、ステータスは最新とみなされます。[**エージェント設定の変更**]リンクを使用して、サーバソフトウェアのバージョンがリファレンス サポート バックのバージョンと一致しない場合、重大と表示するためにソフトウェア ステータスを設定することができます。

全体のソフトウェア ステータスを表示するには、[**ホーム**]タブをクリックします。[**ホーム**]ページが表示されます。

関連プロシージャ

- エージェント設定の変更
- ソフトウェアの更新

関連項目

- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- ソフトウェアのナビゲート

全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン



注記: [全体のソフトウェア ステータス]のアイコンをクリックするとHPバージョンコントロール エージェント (VCA) にアクセスできます。VCAにアクセスできない場合は、そのシステムでVCAまたは信頼関係を設定する方法を示すヘルプが表示されます。

注記: HP-UX以外のすべてのシステムについて、[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンが用意されています。

このステータスは、インストールされたバージョンとレポジトリ内のバージョンの比較に基づいて表示されます。

アイコン	ステータス
	<p>[不明]ステータス アイコンは、以下のような異なるいくつかの理由で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• VCAに、HPバージョンコントロールレポジトリ マネージャ (VCRM) の設定がないため。• 設定されたVCRMが到達しないか、HTTPリクエストに回答しないため。たとえば、システムまたはサービスがダウンしているかパスワードが変更されている場合など。• VCAがシステム上に検出できなかったか、VCAと通信できなかった。

リファレンス サポート パックが設定されていない場合、ステータスの値は設定されます。

注: ステータスは、設定されたレポジトリ内で最新バージョンのコンポーネントです。

アイコン	ステータス
	このアップデートには、重大なバグフィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。
	このコンポーネントのバージョンを含むレポジトリには、バグフィックスまたは新しいハードウェアサポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
	インストールされているソフトウェアのバージョンは、VCRMで利用可能な最新のバージョンと同じか新しい。

リファレンス サポート パックが設定されている場合、ステータスの値は設定されますが、正確なマッチ設定は選択されません。

アイコン	ステータス
	このアップデートには、重大なバグフィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。
	このアップデートには、バグ フィックスまたは新しいハードウェア サポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
	インストールされたソフトウェアバージョンは、リファレンス サポート パックのバージョンと同じか新しい。
	VCAで設定されたリファレンス サポート パックは、すでに設定されたVCRMでは無効です。

リファレンスサポートパックが設定されている場合、ステータスの値は設定され、正確なマッチ設定は選択されます。

アイコン	ステータス
	インストールされているバージョンは、リファレンスサポートパックの同じアイテムのバージョンと一致していません。VCA設定は、正確に一致する指定を期待します。
	インストールされたソフトウェアバージョンは、リファレンスサポートパックのバージョンと同じか新しい。
	VCAで設定されたリファレンスサポートパックは、すでに設定されたVCRMでは無効です。

全体のソフトウェアステータスで、ある項目が現在のものではないと表示される場合は、利用可能なアップデートがあるソフトウェアまたはファームウェアの項目を確認し、項目の説明を読み、サーバ上でその項目をアップデートするのが適切かどうかを判断します。

レポジトリが設定されていて、リファレンスサポートパックが設定されていない場合、ステータスは、インストールされているソフトウェアまたはファームウェアのバージョンと設定されたレポジトリで利用できる最新のコンポーネントとの比較に基づいて表示されます。

レポジトリとリファレンスサポートパックが設定されている場合、ステータスは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンとリファレンスサポートパック内のソフトウェアまたはファームウェアのバージョンの比較に基づいて表示されます。

関連項目

- [ホーム ページ](#)
- [ログ ページ](#)

インストールされているソフトウェアの表示

[インストール済みソフトウェア] セクションには、ソフトウェアとファームウェアのバージョンが表示されます。

HPバージョンコントロール エージェント (VCA) のオプションが設定されていない場合は、**[インストールされているバージョン]** 欄に、現在エージェント システムにインストールされているソフトウェアまたはファームウェアのバージョンが表示されます。

[エージェント設定の変更] リンクを使用して、**HPバージョンコントロールレポジトリマネージャ (VCRM)** を設定すると、**[最新バージョン]** 欄が表示されます。**[最新バージョン]** 欄には、設定されたレポジトリ内で利用可能な最新バージョンのコンポーネントが表示されます。**[最新バージョン]** 欄のバージョン番号をクリックすると、レポジトリに格納されているバージョンの説明が表示されます。

[サポートパックのバージョン] 欄は、**[エージェント設定の変更]** リンクを使用して**リファレンスサポートパック**を定義しない場合は、表示されません。**[エージェント設定の変更]** リンクを使用してVCRMと**リファレンスサポートパック**を設定した後、**[サポートパックのバージョン]** 欄と**[最新バージョン]** 欄が表示されます。**[サポートパックのバージョン]** 欄は、設定されたリファレンスサポートパックの一部であるソフトウェアまたはファームウェア コンポーネントのバージョンを表示します。**[Support Packバージョン]** 欄のバージョン番号をクリックすると、レポジトリに格納されているバージョンの説明が表示されます。

インストールされているソフトウェアのステータス アイコンの意味は、以下のとおりです。

アイコン	ステータス
	このアップデートには、重大なバグフィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。
	このアップデートには、バグフィックスまたは新しいハードウェアサポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
	インストールされたソフトウェアバージョンはこのバージョンと同じか新しい。



注記: [エージェント設定の変更]機能で割り当てられた構成に応じて、[全体のソフトウェア ステータス]が表示されます。

注記: SMHの[オペレータ]または[管理者]の権限でログインしていない場合、[インストール]アイコンは無効のままです。

注記: インストールされたソフトウェアおよびファームウェア項目に対して、設定されたレポジトリに利用可能なバージョンがない場合、[Support Pack]および[最新バージョン]欄には何も表示されません。このような項目には、ステータスアイコンが表示されませんが、全体のソフトウェア ステータスから判断すれば、最新バージョンと考えられます。

VCAは、SASおよびSATAディスク ドライブ ファームウェアSmartコンポーネントをサポートしています。[インストール済みソフトウェア]セクションには、ディスク ドライブ ファームウェア コンポーネントが表示されます。コンポーネントは、ディスク ドライブのモデルに基づいてグループにまとめられ、展開/収縮可能なツリー ビューに別々の項目として表示されます。

関連項目

- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- ソフトウェアの更新

HP ProLiantおよびHP Integrity Support Packの詳細の表示

HPバージョン コントロール エージェントVCAでは、HP ProLiantおよびIntegrity Support Packやコンポーネントの詳細を表示することができます。この詳細情報は、ProLiantおよびIntegrity Support Packやファイル、名前、バージョン、言語、リリース日、説明、インストール時の注意事項、前提条件、リビジョン履歴、入手方法について、および内容などの情報を提供します。

指定したProLiantおよびIntegrity Support Packまたはコンポーネントの詳細を表示するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブをクリックします。[ホーム]ページが表示されます。
2. 詳細情報を表示したい項目のリンクをクリックします。HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) のページにリンクするページが表示されます。

関連項目

- ホーム ページ
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- インストールされているソフトウェアの表示

リファレンス サポート パックの表示

リファレンス サポート パックは、「エージェント設定の変更」リンクを使用して設定されます。

リファレンス サポート パックを選択して、システムの全体のソフトウェア ステータスの判別に使うことができます。この設定により、インストールしたソフトウェアのバージョンを既知の最新バージョンと比較して監視できます。HP ProLiantおよびIntegrity Support Packまたはユーザ定義ソフトウェア ベースラインをリファレンス サポート パックとして使用できます。ユーザ定義ソフトウェア ベースラインは、HPバージョンコントロールレポジトリマネージャ (VCRM) を使用して生成することができます。

関連プロシージャ

- エージェント設定の変更
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン

関連項目

- ホーム ページ
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン

ソフトウェアの表示/非表示

[レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを表示]リンクは、インストールできる *ProLiant* および *Integrity Support Pack* とコンポーネントの **利用可能なソフトウェアの一覧**を提供します。利用可能な *ProLiant* および *Integrity Support Pack* とコンポーネントは、システムにインストールされたオペレーティングシステムのバージョンに対応したものです。サーバーのハードウェアによっては、必ずしも適用する必要がない場合もあります。設定されたレポジトリで利用可能な *ProLiant* および *Integrity Support Pack* とコンポーネントだけが表示されます。

レポジトリで利用可能な追加のアイテムを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. **[ホーム]** タブをクリックします。**[ホーム]** ページが表示されます。
2. **[レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを表示]** をクリックします。利用可能なソフトウェアが **[ホーム]** ページに表示されます。

レポジトリで追加のアイテムを隠すには、以下の手順に従ってください。

1. **[ホーム]** タブをクリックします。**[ホーム]** ページが表示されます。
2. **[レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを隠す]** リンクをクリックします。インストールされているソフトウェアが **[ホーム]** ページに表示されます。

関連項目

- ホーム ページ
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- エージェント設定の変更

エージェント設定の変更

*HP*バージョンコントロールレポジトリマネージャ (VCRM) は、インストールに利用できるソフトウェアのディレクトリです。VCRMを設定することにより、*HP*バージョンコントロールエージェント (VCA) がレポジトリに含まれるソフトウェアを監視できるようになります。

エージェントの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム]ページが表示されます。
2. [エージェント設定の変更]をクリックします。[VCRMの選択]ページが表示されます。
 - a. [コンピュータ名]フィールドにVCRMをインストールしたシステムのIPアドレスか名前を入力します。VCRMをインストールしたコンピュータ名を指定すると、より詳しいソフトウェアインベントリの生成が可能になり、システム上のHPのソフトウェアをアップデートする方法が提供されます。
 - b. [ログインアカウント]フィールドで、指定したシステムでSMHの適切なセキュリティレベルを持つログイン名を入力します。アカウント、アカウント名、およびパスワードは、前の手順で指定したシステムにSMHまたはマネジメントHTTPサーバのどちらがインストールされているかによって異なります。このアカウントはVCRMシステムで[オペレータ]または[管理者]レベルの権限を持つ必要があるため、これらの情報を入力する前に、ブラウザを使用してログインアカウントおよびパスワードを確認することをおすすめします。

注：VCAでVCRMからソフトウェアをダウンロードするには、System Management Homepageで定義されている[管理者]または[オペレータ]のアカウントを入力して、該当するパスワードを入力する必要があります。VCRMで匿名アクセスが無効になっている場合、VCAでインベントリをVCRMで利用できるインベントリと比較してソフトウェアのステータスを表示するには、少なくともユーザ権限のアカウントを入力して、該当するパスワードを入力しなければなりません。

Windows XP Service Pack 2またはWindows Server 2003 Service Pack 1の場合、ソフトウェアファイアウォールを実装しており、ブラウザや他のクライアントが、VCRMにアクセスするために必要なポートにアクセスできないため、VCRMへアクセスすることができません。この問題を解決するには、[例外]を使用してファイアウォールを設定し、HP SIM、VCA、および他のVCRMが使用するポート経由でアクセスできるようにする必要があります。

ファイアウォールの例外設定を行うには、以下の手順に従ってください。

- a. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
- b. [Windowsファイアウォール]をダブルクリックして、ファイアウォールの設定を指定します。
- c. [例外]を選択します。
- d. [ポートの追加]をクリックします。

製品名およびポート番号をそれぞれ入力する必要があります。

ファイアウォール保護に、次の例外を追加します。

製品	ポート番号
HP SMH非セキュア ポート :	2301
HP SMHセキュア ポート :	2381

注：HP SIMのセキュア ポートおよび非セキュア ポートについては、http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manualにある『HP Systems Insight Managerテクニカルリファレンスガイド』のトラブルシューティング、ログインの問題を参照してください。

- e. [OK]をクリックして設定を保存し、[ポートの追加]ダイアログ ボックスを閉じます。
- f. [OK]をクリックして設定を保存し、[Windowsファイアウォール]ダイアログ ボックスを閉じます。

この設定によって、Windows XP Service Pack 2のセキュリティ強化はデフォルトのままになりますが、トラフィックは以前のポートを経由できるようになります。VCRMにアクセスするブラウザやほかのクライアントから正しく通信するには、セキュア ポートと非セキュア ポートの両方を追加する必要があります。

- c. [パスワード]フィールドに、[ログイン アカウント]フィールドで選択したログイン アカウント用のパスワードを入力します。

3. **[次へ]**をクリックして先に進みます。**[VCRMの選択]**ページが表示されます。この手順で指定した設定を消去するには**[リセット]**をクリックし、変更作業を中断するには**[キャンセル]**をクリックします。
 注：VCRMにアクセスできない場合は、エラーメッセージが表示され、[HPバージョン コントロール エージェントエージェント設定の変更]ページに戻るので、設定を入力しなおしてください。
 - **[リファレンス サポート パックの選択]**フィールドでは、ホームページの[Support Packのバージョン]欄でデフォルトのリファレンスとして表示するHP ProLiantおよびIntegrity Support Pack名をドロップダウンリストから選択してください。VCRMの設定は変更するが、新しいリファレンス サポート パックを指定しない場合は、新しいリファレンス サポート パックを指定せずに**[完了]**をクリックします。
 - ソフトウェアのバージョンが適合しないときに警告を表示する場合は、**[このチェックボックスをオンにすると、ソフトウェアステータスはインストールされたソフトウェアのバージョン情報と、リファレンス サポート パックのソフトウェア バージョン情報を元に表示されます。]**を選択します。
 注：以前にリファレンス サポート パックが設定されていないか、設定されたProLiantおよびIntegrity Support Packが存在しない場合は、[リファレンス サポート パック]フィールドに["(選択なし)"]と表示されます。
4. 変更内容を消去して前の設定に戻るには**[リセット]**をクリックし、変更作業を中断して設定を元に戻すには**[キャンセル]**をクリックし、変更を保存するには**[完了]**をクリックします。アップデートされた設定は、**[現在の設定]**ページに表示されます。
5. **[閉じる]**をクリックして、**[ホーム]**ページに戻ります。
 注：**[キャンセル]**をクリックすると、**[キャンセルの確認]**ダイアログ ボックスが表示されて、変更作業を中断して元の設定を維持することの確認を求められます。**[いいえ]**をクリックすると**[現在の設定]**ページに戻り、**[はい]**をクリックすると、変更作業を中断し、元の設定を維持して、**[ホーム]**ページに戻ります。

関連項目

- ▲ リファレンス サポート パックの表示

ソフトウェアの更新

[ホーム]ページでは、HP ProLiantおよびIntegrity Support Packおよびコンポーネントをインストールできます。ソフトウェアまたはファームウェアの名前をクリックするとレポジトリのその項目の説明にリンクします。

コンポーネントまたはProLiantおよびIntegrity Support Packをインストールするには、次の手順に従ってください。

1. **[ホーム]**タブをクリックします。**[ホーム]**ページが表示されます。
2. **[Support Packのバージョン]**、**[最新バージョン]**、またはその両方で、1つ、複数、またはすべての項目を選択します。
3. VCRMでHPSUMがSmartコンポーネントとして使用できる場合は、ページの最下部に**[最低限の依存コンポーネントを自動的にインストール]**オプションが表示されます。選択した項目をインストールするために必要な最小の依存関係をインストールするには、このオプションを選択します。このオプションは、VCRMバージョン2.2以降と接続しているVCA 2.2以降で使用できます。
4. **[インストール]**をクリックします。

選択したインストール オプションでコンポーネント/ProLiantおよびIntegrity Support Packのインストール ページが表示されます。

- **[最低限の依存コンポーネントを自動的にインストール]**オプションが選択されるとき、VCAには、**[インストール用に選択されたコンポーネント]**にインストールに選択されたコンポーネントが表示され、**[依存関係に失敗したコンポーネントリスト]**に依存関係に適合しなかったコンポーネントが表示されます。デフォルトで、強制的にインストールするために、**[依存関係に失敗したコンポーネントリスト]**にあるすべてのコンポーネントが選択されます。
- **[最低限の依存コンポーネントを自動的にインストール]**オプションが選択されない場合は、コンポーネントのインストールを削除したり、インストールの順序を変更するために、選択したコンポーネントとともに**[削除]**、**[上に移動]**、および**[下に移動]**オプションが表示されます。

- **強制インストール** 既存のソフトウェアまたはより新しいバージョンのソフトウェアに上書きする形で、ソフトウェアを再インストールできます。

注：このチェックボックスを選択しても、古いバージョンへのダウングレードがうまくいかない場合があります。ほとんどのコンポーネントの通常プロセスでは、より新しいバージョンがすでにインストールされている場合は古いバージョンをインストールしようとはしないため、このチェックボックスは単にインストールを実行しようと試みることができるだけです。

- **自動リブート** このオプションを選択すると、*HPバージョン コントロール エージェント* (VCA) は、インストール終了後に再起動が必要な場合、自動的にシステムを再起動します。ProLiantおよびIntegrity Support Packのインストールの場合、すべてのコンポーネントがエラーなくインストールされた後で、イベントが発生します。コンポーネントのインストールで1つでもエラーが発生した場合は、再起動されません。インストールエラーが起きた後で、*VCAログ*を調べて、システムの再起動が必要かどうかを判断してください。自動リブートを選択しない場合、ログを見て再起動が必要かどうかを判断する必要があります。ログを見て再起動が必要な場合、マニュアル操作でサーバを再起動して、インストールを完了する必要があります。

重要：タスクが終了したら、必ずログの詳細を読んで、再起動が必要かを判断してください。

5. **[インストール]**ボタンをクリックして、インストールを開始するか、**[キャンセル]**ボタンをクリックして、インストールを中断し、**[ホーム]**ページに戻ります。

注：インストールの前にすべてのコンポーネントがダウンロードされます。ダウンロード中にエラーが起きるとインストールの失敗の原因となり、コンポーネントのインストール エラーが発生します。1つのコンポーネントのインストールでエラーが起きても、ProLiantおよびIntegrity Support Packの残りのコンポーネントのインストールは停止されませんが、自動リブートは行われません。Windowsでは、1つのコンポーネントのインストールが15分以内に終わらない場合、タイムアウトが発生して、コンポーネントのインストールは終了します。

注：1度に1つのインストール タスクしか実行できません。別のインストール タスクの進行中に**[インストール]**アイコンをクリックすると、現在のインストールの進行ステータスを表示する**[ログ]**ページが表示されます。

関連項目

- インストールされているソフトウェアの表示
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン

インベントリ データのリフレッシュ

HPバージョン コントロール エージェント (VCA) は、インベントリ データを手動で更新することができます。

インベントリ データを更新するには、以下の手順に従ってください。

1. **[ホーム]**タブをクリックします。**[ホーム]**ページが表示されます。
2. **[インベントリ データのリフレッシュ]**をクリックします。**[ホーム]** ページが更新されます。

関連項目

- ホーム ページ
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン

ソフトウェア ステータスの印刷

[ソフトウェア ステータスおよびインストール済みソフトウェアの印刷]は、以下の内容を印刷する機能です。

- 全体のソフトウェア ステータス
- リファレンス サポート パック
- インストール済みのソフトウェア名
- インストールされたバージョン
- 最新バージョン

ソフトウェアステータスおよびインストール済みソフトウェアを印刷するには、以下の手順に従ってください。

1. **[HPバージョンコントロールエージェント ホーム]**ページの右上隅にある**[印刷]**アイコンをクリックします。**[ソフトウェアステータスおよびインストール済みソフトウェア]**レポートが表示されます。デフォルトでは、**[印刷]**ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[印刷]**をクリックします。レポートが印刷されます。

関連項目

- ▲ [ホーム ページ](#)

第5章 ログ ページ

[ログ]ページには、その動作中、HPバージョンコントロールエージェント (VCA) によってログに記録された情報が表示されます。このログは、特定のタスクが失敗した原因などの問題を解決しようとするときに役に立ちます。このログは、[ログの消去]リンクで削除できます。

[ログ]ページには、次の機能があります。

- 「ログの表示」
- 「単一のログ エントリの詳細表示」
- 「ログの消去」
- 「ログ設定の変更」

関連項目

- ログの表示
- 単一のログ エントリの詳細表示
- ログの消去
- ログ設定の変更

関連項目

- ホーム ページ
- ソフトウェアのナビゲート
- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- Windows イベント

ログの表示

[ログ]ページは、実行された特定のタスクに関する情報を表示します。

VCAログを表示するには、[ログ]タブをクリックします。[ログ]ページが表示されます。



注記: ログが複数のページにわたる場合は、[ログ]ページの下部にある番号または矢印をクリックすることで、[ログ]ページをナビゲートすることができます。

[タスクID]の詳細情報リンクをクリックすることで、特定のタスクの詳細情報を表示できます。[ステータス アイコン]の欄に各タスクの深刻度を示すアイコンが表示されます。ステータス アイコンの定義は以下のとおりです。

アイコン	ステータス
	メジャー
	警告
	正常
	情報

- **深刻度。** 上に示した深刻度アイコンが、イベントの深刻度を示します。
 - 情報および正常イベントは、起動などの内部イベント、コンポーネントのインストールなど、タスクの正常な完了を確認するために記録されます。
 - 警告イベントは、設定の誤りなどVCAの機能が完全ではないことを示す場合があります。
 - メジャーイベントは、タスクやプロセスが失敗したときに記録されます。この深刻度は、VCAの問題を示す場合もありますが、タスクでの不正な入力や外部状況（ネットワークの問題な

ど)によって発生することもあります。これらが原因で、タスクが完了できなくなる可能性もあります。

- **タスクID。** [タスクID]欄のリンクをクリックすると、フィルタされたタスクのログが表示されます。再度[ログ]タブをクリックするか、ブラウザの[戻る]をクリックすると、フィルタする前のログに戻ります。対話型のユーザのために実行されたタスクには、VCAによってIDが生成されます。HP Systems Insight Manager (HP SIM) コマンドは、[エージェント設定のレプリケート]および[ソフトウェアおよびファームウェアのインストール]から実行されたタスクのためのIDを提供します。
- **日付/時刻。** イベントが発生すると、日付と時刻がログに記録されます。時刻は、ブラウザの現地時間に変換され、サーバが異なる時間帯の地域に配置されている場合でも、イベントが発生した実際の時刻が示されます。
- **メッセージ。** 追加情報を利用できる場合は、[詳細情報]リンクが表示されます。[詳細情報]リンクをクリックして、詳細情報を表示します。特定のイベントの詳細情報を表示するには、表示するメッセージに関連付けられた[詳細情報]リンクをクリックします。

関連項目

- 全体のソフトウェア ステータスの表示アイコン
- ログの消去

単一のログ エントリの詳細表示

VCAログ ページでは、ログ エントリの詳細情報を利用可能な場合に、その情報を表示することができます。ログ エントリの詳細情報が利用可能な場合、詳細情報リンクは、該当するログ エントリの最後に表示されます。



注記: [深刻度]、[タスクID]、[日付/時刻]、および[メッセージ] フィールドについては、「ログの表示」を参照してください。

注記: ログ エントリを記録した状況によって、その言語の詳細情報が利用可能な場合、詳細情報はVCRMのローカルのオペレーティングシステム言語かクライアント ブラウザの言語設定に記録されています。ログ エントリが記録された後にブラウザ言語の設定が変更されると、言語の詳細情報の表示は変更されません。

ログ エントリの詳細情報にアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. [ログ]タブをクリックします。[ログ]ページが表示されます。
2. 詳細情報を表示するログ エントリの詳細情報リンクをクリックします。[エントリ詳細]ページが表示されます。

関連項目

- ログの表示
- HP ProLiantおよびHP Integrity Support Packの詳細の表示

ログの消去

ログが大きくなりすぎると、必要な情報を探するのが難しくなります。[ログの消去]リンクを使うと、VCAログを消去できます。



注意: HPバージョン コントロール エージェントログ ファイルを消去すると元に戻すことはできません。この機能は慎重に使用してください。



重要: Internet Explorerのセキュリティ設定が正しく設定されているかを確認してください。詳しくは、「Internet Explorerのセキュリティ設定」を参照してください。



注記: ログを消去するには、[オペレータ]または[管理者]の権限でシステムにログインしていなければなりません。



注記: インストール実行中は、コンポーネントのセットアッププログラムでファイルを使用しているため、ログの消去を行わないでください。ログを消去すると、インストールの結果としての全体のソフトウェア ステータスがHP SIMに返されない場合があります。

VCAログを消去するには、以下の手順に従ってください。

1. **[ログ]**タブをクリックします。**[ログ]**ページが表示されます。
2. **[ログの消去]**をクリックします。**[HPバージョンコントロールエージェントログの消去]**ページが表示されます。
3. 将来参照するために、既存のログ エントリをテキスト ファイルに保存する場合は、**[テキスト保存オプション]**セクションで、**[ログ テキストの保存]**を選択します。
4. **[VCAログの消去]**ページに戻ってデフォルト設定を使用するには**[リセット]**をクリックし、消去作業を中断するには**[キャンセル]**をクリックします。**[消去]**セクションで、**[完了]**をクリックしてログを消去します。
 - a. **[ログテキストの保存]**を選択している場合は、**[ファイルのダウンロード]**ダイアログ ボックスが表示されます。
 - b. **[保存]**をクリックします。**[名前を付けて保存]**ダイアログ ボックスが表示されます。テキスト ファイルを保存する場所を指定して、**[保存]**をクリックします。**[HPバージョン コントロール エージェントログの消去]**ページが再度表示されて、**[VCAログ]**が無事に消去されたかを示します。
5. **[閉じる]**をクリックします。**[ログ]**ページが更新されます。

関連項目

- ログの表示
- インストールされているソフトウェアの表示

ログ設定の変更

[ログ設定の変更]リンクを使うと、ログを設定できます。ログ エントリを自動削除するか、エントリを削除するまでの日数、および1ページに表示するログ エントリ数を指定できます。



注記: 設定を変更したり、**[ログの管理]**機能を有効にしたりするには、**[オペレータ]**または**[管理者]**として、システムにログインしている必要があります。

ログの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. **[ログ]**タブをクリックします。**[ログ]**ページが表示されます。
2. **[ログ設定の変更]**をクリックします。**[ログ設定の変更]**ページが表示されます。
3. ログ エントリを自動削除するまでの日数を指定するために、**[ログ年齢]**セクションで、**[ログ年齢を有効]**を選択します。ログを自動削除しない場合は、**[ログ年齢を有効]**の選択を解除してください。
4. **[エントリを保持する日数]**フィールドに、ログ エントリを削除するまでの日数を入力します。
注：デフォルトでは、ログは90日間保存されます。
5. **[ページ毎のログ エントリ表示数]**セクションで、各**[ログ]**ページに表示するエントリ数をドロップダウン メニューから選択します。
6. **[ログ設定]**ページに戻ってデフォルト設定を使用するには**[リセット]**をクリックし、変更作業を中断するには**[キャンセル]**をクリックします。
7. **[完了]**をクリックして、新しい設定を保存します。ログ設定が無事に保存されたかを示す**[ログ設定]**ページが表示されます。
8. **[閉じる]**をクリックします。**[ログ]**ページが更新されます。

関連項目

- ログの消去
- ログの表示

第6章 トラブルシューティング

HPバージョン コントロール エージェント

アクセスの問題

管理者、オペレータ、または無効な証明書でVCRMに接続するようにVCAを設定すると、VCAの[インストール]ボタンがグレー表示になる

解決策：VCRMのSMHを匿名でのアクセスを有効にします。

HP Management CDバージョン7.50でVCRMをアップグレードしてください。

HP SIMの問題

HP Systems Insight Manager (HP SIM) でアップデートを実行中に、ソフトウェア レポジトリが利用できなくなった場合には、どのようにして復旧すればいいのでしょうか？

解決策：アップデート タスクは、ソフトウェア バージョンの基準を使用して、タスクを再度実行します。アップデートは開始されますが、レポジトリに置かれたSmartコンポーネントは、対象となるサーバでサポートされている場合にだけインストールされます。

タスク ログを使って、対象となるシステムを調べて、アップデートがどこで失敗したかを調べます。

HP SIMのソフトウェア アップデート機能がレポジトリにありません。これはどのように修正すればいいのでしょうか？

解決策：検出の設定を調べて、指定されたIPアドレスの範囲から利用可能なレポジトリの選択が除外されていないことを確認してください。また、レポジトリはHP SIMに対して、自身をレポジトリとして通知するため、すべてHPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) によって管理されていることを確認してください。必須ではありませんが、HP SIMの検出を初めて実行する前に、VCRMをセットアップしておくとう便利です。VCRMとHP SIMの間に信頼関係が設定されていることを確認してください。

HP Systems Insight Managerからインストールしようとしていた3つの項目のうちの1つがレポジトリからのダウンロードに失敗した場合、正しくダウンロードできた他の2つの項目もインストールできませんでした。

解決策：項目の1つでもレポジトリからのダウンロードに失敗すると、VCAはそれらの項目をインストールしません。

HP SIMでソフトウェアのアップデート タスクが完了したときに、自分にE-mail通知を出すタスクを設定しましたが、イベントが通知されたときにソフトウェアのインストールは完了していませんでした。

解決策：ソフトウェア アップデート タスクは、対象となるそれぞれのシステム上のVCAに、指定したコンポーネントをインストールするコマンドを発行します。最後のシステムにインストールコマンドを送信し終わると、ソフトウェア アップデート タスクは終了し、終了イベントが送信されます。ただし、この時に、一部のシステムではコンポーネントのダウンロードとインストールが行われている場合があります。

VCAを使ってVCRMをインストールまたはアップデートできないのはなぜですか？「Unable to install the Microsoft XML Parser 3.0 (1603)」エラーが表示されます。

解決策：サービスが管理者権限を持たないVCAでVCRMをインストールしようとしています。

VCAとVCRMの両方が動作するサーバで、推奨する変更を実行してください。

1. [サービス] プログラムを起動します。
2. [VCA]サービスを右クリックします。
3. [プロパティ]を選択します。
4. [ログオン]タブをクリックします。
5. [このアカウント]をクリックします。
6. 管理者アカウントを持つユーザ名を入力するか、または[参照]を使ってブラウズします。
7. [OK]をクリックして、変更を保存します。

これで、VCAを使って、VCRMをインストールおよびアップグレードできるようになりました。

ログの問題

インストール ログではなく、[VCAログ]に再起動要求（ステータス2）があるのはなぜですか？

解決策：VCA[ログ]ページには、その動作中、VCAによってログに記録された情報が表示されます。**[VCAログ]**は、特定のタスクが失敗した原因などのトラブルシューティングをしようとするときに、情報を提供します。この特別なケースでは、コンポーネント セットアップ プログラムがインストールの成功を検出していますが、インストールはシステムが再起動するまで完了しません。VCAは、不要な再起動を防止するために、各コンポーネントのインストール後にシステムを再起動するようなことは避け、すべてのインストールが終わった段階で再起動します。**[自動リブート]**オプションを選択せずに、インストール タスクを開始した場合、サーバを手動で再起動して、すべてのソフトウェアを正しくインストールする必要があります。

[ログ]ページには、コンポーネントのセットアップ プログラムによってログに記録された情報が表示されます。

使用しているサーバにハードウェアが存在し、アップデートが必要なのに、一部のコンポーネントがインストールされず、ログに失敗と記録されるのはなぜですか？

解決策：HPの一部のコンポーネントは、NICドライバのようにユーザが操作しないとインストールできないサイレント インストールをサポートしていません。VCAは、サイレント インストールが可能なコンポーネントだけをインストールできます。現在、以下のコンポーネントがサイレント インストールをサポートしています。

- NetFlex/Netelligentアダプタ ドライバfor Windows NT 4.0
- Ethernet/Fast EthernetまたはGigabit NICドライバfor Windows NT 4.0
- Array Redundancy Software for Windows 2000

サイレント インストールがサポートされていない場合、以下の手順に従ってください。

1. VCAログを表示して、インストールされなかったコンポーネントを確認します。
2. アップデートできなかったシステムにアクセスして、そのシステムからVCRMのレポジトリを表示します。
3. **[カタログ]**をブラウズして、コンポーネントを特定します。
4. [次へ]をクリックします。**[コンポーネントの詳細]**ページが表示されます。
5. インストールできなかったコンポーネントをダウンロードするには、**[コンポーネントの詳細]**ページの上にあるコンポーネントのリンクをクリックします。
6. コンポーネントをシステムに保存します。
7. コンポーネントを手動でインストールします。

Authenticodeテクノロジーによって署名されていないためや、Microsoft Windowsロゴ テストに合格していないためにコンポーネントをインストールできない場合は、対象となっているシステムのメッセージを確認してください。

このコンポーネントがユーザの操作なしでインストールされない場合、VCAは、なぜ"インストール失敗"と表示されるのですか？

解決策：VCAは現在、サイレント コンポーネントとサイレントでないコンポーネントを区別しません。

ファイルにログ エントリを保存できません。また、「Internet Explorer cannot download clrlogwiz&logsave=true from the local host」というMicrosoft Internet Explorerのメッセージが表示されます。原因は何ですか？

解決策：ブラウザの設定が原因で、ログ ファイルに書き込みができません。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. Microsoft Windows Explorerで、[ツール]、→[インターネット オプション]、→[詳細設定]の順にクリックします。
2. **[セキュリティ]**セクションで、**[暗号化されたページをディスクに保存しない]**の選択を解除します。
3. **[OK]**をクリックします。これで設定が保存されます。

VCAのインストールのインストール アイコンからSMHをインストールすると、VCAログが表示されなくなり、ページが表示できませんと表示される。原因は何ですか？

解決策：インストール中にSMHが再起動し、クライアント ブラウザ アプリケーションとシステムの接続が中断されます。この問題を解決するには、SMHに再度ログインし、インストール タスクのステータスを確認するためにVCAログ ディレクトリを表示させます。

Internet Explorerを使用して、ログをクリアしてログ テキストを保存しようとした場合、ファイル ダウンロード エラーが発生したことを示すセキュリティ ダイアログ ボックスが表示されます。[セキュリティ]タブを右クリックし、[ファイルのダウンロード]を選択するとファイルがダウンロードできません。しかし、保存したログファイルを開いても何もデータがありません。どうすればこの問題を解決することができますか？

解決策：デフォルトのInternet Explorerのセキュリティ設定では、ファイルのダウンロードが拒否されてしまいます。

この問題を解決するには、SMHのURLをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加してください。

SMHをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Internet Explorerで、[ツール]、→[インターネット オプション]の順にクリックします。
2. [セキュリティ]タブをクリックします。
3. [信頼済みサイト]アイコンを選択します。
4. [サイト...]をクリックします。[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [次のWebサイトをゾーンに追加する]フィールドに、`https://ホスト名:2381/`と入力し、[追加]をクリックします。
6. [OK]をクリックして、設定を保存して[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスを閉じます。
7. [OK]をクリックして[インターネット オプション]ダイアログ ボックスを閉じます。

印刷の問題

Mozillaブラウザから印刷すると、[Unknown Error]というダイアログ ボックスが表示される。このようなことがなぜ起きるのでしょうか？

解決策：デフォルトのプリンタが設定されていません。この問題を解決するには、デフォルトのプリンタを設定してください。

ProLiant Support Packの問題

サーバからProLiant Support Packのインストールを起動すると、XML PARSING ERRORというメッセージが表示され、ログの詳細がThe xml file was tainted.と表示されて、インストールが終了する。

解決策：ProLiant Support Packのインストールは、ディスク容量が少ないと終了します。

この問題を解決するには、サーバに最低200MB以上の空きディスク領域が残っていることを確認してください。

エージェント設定のレプリケートの問題

HP SIMのエージェント設定のレプリケート機能は、セキュリティ上の理由からソースシステムへのアクセスを拒絶します。これはどのようにすれば修正できますか？

解決策：HP SIMは、認証されたユーザだけが管理情報にアクセスできるように、セキュリティ機能を実装しています。このセキュリティ機能は、HP SIMと管理対象システムとの間のセキュリティ設定に基づいています。HP SIMとソースシステムのSMH間の信頼関係が正しく設定されていないと、HP SIMはアクセスを拒絶します。この問題を修正するには、次の手順を実行することをおすすめします。

1. `https://ホスト名:2381`にナビゲートします。
2. SMHで、[設定]→[セキュリティ]→[信頼モード]の順にクリックします。
3. 設定を修正します。

注：信頼関係について詳しくは、HP SIMインストール/ユーザガイドの信頼関係の設定を参照してください。

管理システム（VCRMインストール済み）および管理対象システム（SMH）によって実装されているセキュリティ機能について詳しくは、Security White Paperを参照してください。Security white paperをダウンロードするには、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp/servers/proliantessentials> にアクセスしてください。

レポジトリの問題

HP Systems Insight Managerの[ソフトウェアのバージョン ステータス ポーリング] タスクのジョブは、システムにインストールされたソフトウェアとファームウェアのリストをシステムから取得し、システム上のHPバージョンコントロールエージェント（VCA）からソフトウェアのステータスを取得します。

このタスクの設定時に、レポジトリを指定しなければならないのはなぜですか?どのレポジトリを選択するかは、問題になりますか?

解決策: HP SIMは、選択したVCRMに、ソート順に並べられたすべてのソフトウェアバージョンのリストを送ります。このプロセスは、HP SIMがソフトウェアバージョン比較を含む検索を正しく処理するために必要です。VCRMは、ソートしたコンポーネントのバージョンのリストを、そのコンポーネントがレポジトリにない場合でも返すことができます。ただし、通常は、最も完全なソフトウェアのセットを含むレポジトリを選択するのが賢明です。

[管理者]の資格情報を使用してVCRMにアクセスするようにVCAを設定したいのですが、できないようです。このようなことがなぜ起きるのでしょうか?

解決策: SMHがインストールされている場合、[管理者]の資格情報を使用してVCRM 2.1以降にアクセスするようにVCAを設定することはできません。VCAがVCRMに何度かログイン試行することによって、VCRMの[管理者]OSアカウントがロックアウトされないように、VCAの機能が[管理者]の資格情報を使用できないようにしています。

管理者の権限のある、VCA専用のアカウントを作成することをおすすめします。たとえば、`vcaadmin`など。

ソフトウェア インベントリの問題

物理的に自分のサーバに存在しないコンポーネントが、ハードウェアのインベントリに表示されるのはなぜですか?

解決策: この問題は、SmartStartとVCAとの競合が原因で起きるもので、**最新バージョン**欄と**[Support Pack]**欄には、**黄色**のステータス アイコンが表示される場合があります。

SmartStartは、ハードウェアの物理的な位置に関わらず、下の例のようなハードウェアのためにすべてのコンポーネント、特にストレージ コンポーネントをサーバにインストールします。

- 32-bit SCSIコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- ドライブ アレイ ドライバ for Windows NT 4.0
- Smart Array-2コントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- 64-bit/66MHzデュアル チャネルWide Ultra3 SCSIコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- Smartアレイ5xコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0

VCAで設定されたVCRMにこれらのコンポーネントの新しいバージョンのカタログがあり、アップグレードが必要で利用可能な場合、これらのコンポーネントのインベントリが**黄色**のステータス アイコンで表示されます。

たとえば、ご使用のサーバがSmartStart CD 5.2のコンポーネントで設定されていて、VCRMの**[カタログ]**には、新しいSmartStart CD 5.3のコンポーネントが含まれている場合、VCAのインベントリでは、以前のコンポーネントを**黄色**のアイコンで表示します。システムにはハードウェアが物理的に存在せず、したがって、ステータス アイコンをコンポーネントが最新であることを示す**緑色**の表示にすることができないため、これらのコンポーネントをアップグレードすることはできません。VCAがコンポーネントのアップグレードが必要なことをレポートしているため、**[全体のステータス]**は相変わらず、**黄色**のままです。

ユーザ定義ソフトウェア ベースラインを作ることによって、問題となるコンポーネントを除外して、VCAがユーザ定義ソフトウェア ベースラインをリファレンス サポート パックとして使用するように設定できます。このオプションは、*Support Pack*のバージョン欄でも、問題のコンポーネントをバージョンの比較中に除外することができます。この結果、**[全体のステータス]**をインベントリが最新であることを示す**[緑色]**のアイコン表示に変更できます。ただし、**[最新バージョン]**の欄は、依然としてこれらのコンポーネントに**[黄色]**のアイコンを表示します。

この解決策は、ストレージハードウェアが物理的にインストールされていないシステムにだけ適用してください。

この問題は、VCAの将来のリリースで修正される予定です。

「ati2mtag.sys」および「HPCISSs2.sys」が、[Installed Software]では、ソフトウェア名として示されています。

解決策1: SNMP用Insightマネジメント エージェントをインストールして、読み出しアクセスができる1つ以上のコミュニティ名でSNMPをインストールおよび設定します。これにより、VCAは、SNMPからインベントリを収集できます。

解決策2：最新のアップデートを備えたVCRMを実装して、VCRMに対応するようにVCAを設定します。これにより、VCAは、該当する製品のVCRMから最新の適切な説明を更新できます。

解決策3：SmartStart CDを使用して、必要なドライバをインストールします。これにより、HPメタデータおよびドライバ名の説明が付属しているドライバをインストールできます。

HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ

アクセスの問題

Service Pack 2を使用してWindows XPシステムをアップデートした後、HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャにアクセスできなくなります。原因は何ですか？

解決策：Windows XP Service Pack 2は、ソフトウェア ファイアウォールを実装しており、このため、ブラウザや他のクライアントが、VCRMにアクセスするために必要なポートにアクセスできません。この問題を解決するには、[例外]を使用してファイアウォールを設定し、HP SIM、VCA、および他のVCRMが使用するポート経由でアクセスできるようにする必要があります。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [Windowsファイアウォール]をダブルクリックして、ファイアウォールの設定を指定します。
3. [例外]を選択します。
4. [ポートの追加]をクリックします。

製品名およびポート番号をそれぞれ入力する必要があります。

ファイアウォール保護に、次の例外を追加します。

製品	ポート番号
HP SMH非セキュア ポート：	2301
HP SMHセキュア ポート：	2381

注：HP SIMのセキュア ポートおよび非セキュア ポートについて詳しくは、*HP SIMインストール/ユーザガイドのトラブルシューティング、ログインの問題*の項を参照してください。

5. [OK]をクリックして設定を保存し、[ポートの追加]ダイアログ ボックスを閉じます。
6. [OK]をクリックして設定を保存し、[Windowsファイアウォール]ダイアログボックスを閉じます。

この設定によって、Windows XP Service Pack 2のセキュリティ強化はデフォルトのままになりますが、トラフィックは以前のポートを経由できるようになります。VCRMにアクセスするブラウザやほかのクライアントから正しく通信するには、セキュア ポートと非セキュア ポートの両方を追加する必要があります。

ブラウザの問題

最新のProLiant Support Packを使用してコンポーネントを設定しようとする、Mozillaブラウザにコンポーネントの設定ウィザードが表示されますが、ここでは、1つの画面にすべての設定画面が含まれています。どの設定を保存することもできず、[Save]をクリックしてもウィザードに空白の画面が表示されます。このようなことがなぜ起きるのでしょうか？

解決策：バージョン7.10以前のProLiant Support Packに含まれるコンポーネント設定は、Mozillaブラウザを使用する場合、成功しないことがあります。これは、コンポーネントの設定HTMLに依存関係が含まれるためです。

この問題を解決するには、Internet Explorer 6.0 SP1以降またはHPリモート展開ユーティリティを使用し、コンポーネントを設定してください。

サポート パックのアップロード タスクが機能しません。原因は何ですか？

解決策：[ProLiant Support Packのアップロード]タスクを機能させるには、ブラウザのActiveXコントロールのダウンロード設定と実行設定を有効にする必要があります。

Microsoft Internet Explorerのセキュリティ設定を行うには、以下の手順に従ってください。

1. **[Microsoft Internet Explorer]**のツールバーで、**[ツール]**をクリックして、**[インターネット オプション]**を選択します。**[インターネット オプション]**ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[レベルのカスタマイズ]**をクリックします。**[セキュリティの設定]**ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[ActiveX コントロールとプラグイン]**の下の**[署名済み ActiveX コントロールのダウンロード]**で、**[有効にする]**を選択します。
4. **[ActiveX コントロールとプラグインの実行]**で、**[有効にする]**を選択します。
5. **[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行]**で、**[有効にする]**を選択します。
6. **[OK]**をクリックして、設定を保存します。ブラウザの画面に戻ります。

カタログの問題

ProLiantおよびIntegrity Support Packからレポジトリに手動でファイルをコピーすると、どの新しいコンポーネントも[カタログ]ページに表示されません。どのようにすれば、このファイルを表示させることができますか？

解決策：VCRMを使用せずに、手動でファイルをレポジトリにコピーする場合は、レポジトリを再スキャンしてカタログを再構築しなければならないことがあります。レポジトリにファイルを手動でコピーする方法について詳しくは、VCRMのヘルプ ファイルのSmartStart CDから**手動でレポジトリを更新する**（ProLiantサーバの場合）またはHP SmartSetup CD（Integrityサーバの場合）を参照してください。レポジトリの再スキャンについて詳しくは、VCRMのヘルプ ファイルの**レポジトリの再スキャンとカタログの再構築**を参照してください。

VCRMで再スキャン機能が動作していないようです。このようなことがなぜ起きるのでしょうか？

解決策：**[自動更新]**の進行中は、再スキャン機能は機能しません。**[自動更新]**が完了したら、レポジトリが、カタログに**[自動更新]**が表示されていた間にダウンロードされた、すべてのコンポーネントおよびProLiant Support Packの再スキャンを自動的に行います。

自動更新中に、「The automatic update failed because an error occurred while retrieving the download site catalog.」というエラー メッセージが表示されました。エラーメッセージは、catalog.xmlファイルのエラーとエラー コード12007、12015などに関するものでした。これは、どのような意味ですか？

解決策：自動更新プロセスの実行中に、VCRMがWebサイトに接続できませんでした。

以下の手順を実行することをおすすめします。

- VCRMがインストールされているマシンへの、インターネットのハードウェア接続（電話回線やケーブル）が確実に行われていることを確認します。
- DNS（domain name server）設定が正しいことを確認します。
- プロキシおよびユーザ権限の設定を確認します。

[サポートパックのアップロード]機能を使用した後、アップロードが正常終了しているにもかかわらず、いくつかの新しいサポートパックが無効とマークされ、他のファイルが消失しているのはなぜですか？

解決策：ローカル システムからVCRMにすべてのファイルを転送すると、アップロードは完了します。パフォーマンスの理由により、転送されたファイルはVCRMサーバで別々の動作でカタログに載るように入りに入り（アップロードが完了したことを意味します）、すべてのファイルがすぐにカタログに表示されるのではなく、アップロードされたサポートパックは無効であるとマークされ、すべてのファイルがカタログに載せられるまで通常は数分かかります。

エラーの問題

「An error (0) occurred while trying to install the MSXML Parser 3.0」のエラーが発生してVCRMのアップグレードで失敗する。

解決策コンポーネントがネットワーク上で解凍しインストールした場合、このエラーが発生します。

コンポーネントをネットワーク上で解凍してインストールしないようにしてください。たとえば、それぞれのシステム上でcp00xxx.exe起動します。

HP SIMの問題

HP SIM 4.1をインストールした後にVCRMにアクセスできなくなる。SMHで利用可能なリンクがなく、ブラウザに直接<https://VCRMSystem:2381>と入力してアクセスしても、エラーコード404が表示されます。

解決策：HP SIM 4.0/4.01のアンインストール後のHP SIM 4.1のインストール中に、\compaq\wbemディレクトリへのアクセス権が正しく設定されていません。その結果、VCRMが正しくSMHに登録されていません。

以下の手順を実行することをおすすめします。

- HP SIM4.2をインストールします。
または
- <http://h18007.www1.hp.com/support/files/server/jp/download/22728.html>からSoftPaq SP25771 HP Webベース システム マネジメント ソフトウェアセキュリティ パッチ for Windowsバージョン 5.94をダウンロードしてインストールします。
 1. 管理者権限でシステムにログインします。
 2. 以下のサービスを停止します。
 - すべてのInsightマネジメント エージェント
 - アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ
 - HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ
 - HPバージョン コントロール エージェント
 - HP Insightマネジメント エージェント
 - Surveyor
 - HP Performance Management Pack (PMP)
 - HP PMPツール
 3. \compaq\wbemディレクトリを\compaq\wbem_oldに変更します。
 4. \compaq\wbemディレクトリを作成します。
 5. \compaq\wbem_oldの内容を\compaq\wbemにコピーします。
 6. 以下のサービスを再起動します。
 - すべてのInsightマネジメント エージェント
 - アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ
 - HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ
 - HPバージョン コントロール エージェント
 - HP Insightマネジメント エージェント
 - Surveyor
 - HP Performance Management Pack (PMP)
 - HP PMPツール

VCRMがSMHおよび<https://VCRMSystem:2381>アクセスできるようになります。

ログの問題

ProLiantおよびIntegrity Support Packがアップロードされた後、変更または追加されたコンポーネントに関するVCRMログには、どうして複数のログ エントリがあるのですか？

解決策：VCRMは、アップロード コントロールから受け取った特定の追加を登録しますが、別々に動作しているレポジトリ ディレクトリも監視しています。オペレーティング システムは、レポジトリ ディレクトリの変更について別々の通知を提供するため、ログが複数記録されてしまいますが、これは無視することができます。

解決策：デフォルトのInternet Explorerのセキュリティ設定では、ファイルのダウンロードが拒否されてしまいます。

この問題を解決するには、SMHのURLをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加してください。

SMHをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Internet Explorerで、[ツール]、→[インターネット オプション]の順にクリックします。
2. [セキュリティ]タブをクリックします。[セキュリティ]タブが表示されます。
3. [信頼済みサイト]アイコンを選択します。
4. [サイト...]をクリックします。[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [次のWebサイトをゾーンに追加する]フィールドに、`https://ホスト名:2381/`と入力し、[追加]をクリックします。
6. [OK]をクリックして、設定を保存して[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスを閉じます。
7. [OK]をクリックして[インターネット オプション]ダイアログ ボックスを閉じます。

事前設定の問題

VCRMまたはHP SIMで事前に設定する場合、SMHコンポーネントに証明書を追加できません。[参照]ボタンを使用して証明書を選択した場合、「Unable to Read the certificate file」というエラーメッセージが表示されます。

解決策：デフォルトでは、Internet Explorerのセキュリティ設定は、いくつかの動作が拒否されてしまいます。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. 証明書ファイルへの読み出しアクセス権があることを確認します。
2. 参照しようとしているシステムから、Internet Explorerの[信頼済みサイト]リストに、VCRMシステムのURLを追加します。

VCRMのURLをInternet Explorerの信頼済みサイトに追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Internet Explorerで、[ツール]、→[インターネット オプション]の順にクリックします。
 2. [セキュリティ]タブをクリックします。[セキュリティ]タブが表示されます。
 3. [信頼済みサイト]アイコンを選択します。
 4. [サイト...]をクリックします。[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスが表示されます。
 5. [既定のレベル]をクリックし、[このゾーンのセキュリティレベル]が[低]に設定されているかを確認します。
 6. [次のWebサイトをゾーンに追加する]フィールドに、`https://VCRMSystem:2381/`と入力し、[追加]をクリックします。
 7. [OK]をクリックして、設定を保存して[信頼済みサイト]ダイアログ ボックスを閉じます。
 8. [OK]をクリックして[インターネット オプション]ダイアログ ボックスを閉じます。
3. SMHコンポーネントの事前設定を開始します。
 4. [参照]を使用して証明書ファイルを選択する場合、Internet ExplorerのActiveXコントロールに関する警告が表示されます。[はい]をクリックして証明書ファイルをロードします。

ProLiant Support Packの問題

サーバからProLiant Support Packのインストールを起動すると、XML PARSING ERRORというメッセージが表示され、ログの詳細がThe xml file was tainted.と表示されて、インストールが終了する。

解決策：ProLiant Support Packのインストールは、ディスク容量が少ないと終了します。

この問題を解決するには、サーバに最低200MB以上の空きディスク領域が残っていることを確認してください。

暗号化属性を使用してレポジトリ ディレクトリを設定した後VCRMサービスを再起動すると、VCRMの[カタログ]ページにどのProLiant Support Packも表示されなくなります。また、[ログ] ページに、コンポーネントがレポジトリから削除されたことが表示されます。ProLiant Support Packは、なぜ表示されないのですか？

解決策：この問題は、通常、セキュリティ権限の変更またはレポジトリ ディレクトリの暗号化によるものです。VCRM Windowsサービスがレポジトリ ディレクトリにフルアクセスできるように、レポジトリ ディレクトリの権限が設定されているかどうかを必ず確認してください。また、VCRMは、暗号化属性をサポートしません。レポジトリ ディレクトリを暗号化すると、ProLiant Support PackがVCRMの[カタログ]ページに表示されなくなります。ただし、削除されてはいません。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. VCRMのサービスを停止します。
2. **[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。Windowsエクスプローラが表示されます。
3. レポジトリ ディレクトリを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
4. **[全般]**タブをクリックします。
5. **[詳細設定]**をクリックします。
6. **[内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する]**の選択を解除します。
7. **[OK]**をクリックします。
8. **[OK]**を再度クリックします。設定が保存されます。
9. VCRMサービスを開始します。**[カタログ]**ページにProLiant Support Packが表示されます。

HP SIMのソフトウェア/ファームウェア基準を使って、インストールされているSupport Packのバージョンを確認することができますか？

解決策：通常、ProLiant Support Packは、ソフトウェアのアップデート検索を作成するときの比較に使うことはできません。ただし、ProLiant Support Packを比較する必要がある場合は、次のガイドラインで比較に使用するProLiant Support Packを選択してください。

- ProLiant Support Packで使用できる比較は、**[Equal To]**だけです。
- HP SIMは、ProLiant Support Packがシステムにインストールされていたかどうかを確認できません。ただし、ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントがシステムにインストールされているかだけは確認できます。ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントが対象となるシステムにインストールされている場合にだけ、ProLiant Support Packを比較する検索に対して、対象となるシステムが返されます。

ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントが1つのシステムにインストールされることは考えられません。この問題は、Support Packソフトウェアを基準とするほとんどの検索には、システムが返ってこない原因となります。

既存のVCRM 1.0ディレクトリにProLiant Support Pack 6.40をダウンロードした後、カタログにProLiantおよびIntegrity Support Packが表示されません。どうしてProLiant Support Packが表示されないのですか？

解決策：ProLiant Support Pack 6.40は、VCRM 1.0では動作しません。VCRM 2.0以降をインストールすることをおすすめします。

注：VCRM 2.0のインストールには、再起動する必要はありません。

ProLiantおよびIntegrity Support Packを自動的にダウンロードするようにVCRM自動更新機能を設定して、VCRMのステータスでは正常にアップデートが完了しています。しかし、ファイルは何もダウンロードされていません。

解決策：VCRMログに「*Automatic update downloaded 0 files. No VCAs have provided operating systems information to use as a download selection criteria.*」ログ エントリが表示されます。

以下の手順を実行することをおすすめします。

- ネットワーク内のシステムにVCAがインストールされていない場合は、システムにVCAをインストールして、VCRMを使用するようにVCAを設定する必要があります。
- ネットワーク内のシステムにVCAがインストールされている場合は、VCRMを使用するようにVCAを設定する必要があります。

その他の問題

HP SIMで検出を実行する前に、VCRMをインストールする必要がありますか？また、必要であるとしたらなぜですか？

解決策：必須ではありませんが、検出を実行する前にVCRMをインストールするのは賢明です。このレポジトリがHP SIMを信頼していることを確認してください。信頼関係について詳しくは、*HP Systems Insight Manager*インストール/ユーザガイドの**信頼関係の設定**の項を参照してください。**[ソフトウェアバージョンのステータス ポーリング]**タスクが、システムから取得したソフトウェアのバージョンを正しくソートできるため、VCRMをインストールするのは賢明です。検出を実行する前にレポジトリを設定していない場合は、ソフトウェア基準検索が最初に設定される際にバージョンがソートされます。

HP SIMで基本エージェント for Windowsをインストールしたシステムの検索を実行したときに、Windows 2000のシステムだけが検出され、Windows NTのシステムが検出されないのは、なぜですか？

解決策：Windows NTとWindows 2000の両方をサポートするコンポーネントを選択しても、検索は、検索作成時にコンポーネントを選択したオペレーティング システム ツリーに一致するシステムしか検出しません。この例では、基本エージェント for Windowsを基準ツリーのWindows 2000ブランチから選んだ場合、Windows 2000システムだけが検出されます。Windows 2000とWindows NTの両方のシステムを検出する場合は、Windows 2000およびWindows NTブランチから基本エージェント for Windowsを選択してください。

VCA単体での機能は何ですか？

解決策：VCAはローカル サーバにインストールされているHP Webベース システム マネジメント ソフトウェアとファームウェアの一覧を提供します。VCAがバージョン管理とソフトウェア分配の機能を提供するには、VCRMを参照するように設定する必要があります。

HPでは将来のリリースで、サイレントで、またはユーザの操作なしでインストールされないコンポーネントのインストール アイコンを無効にする予定がありますか？

解決策：はい、あります。

VCAやVCRMは、SMHの[インテグレートド エージェント]リストの下のリンクとして表示されますが、SMHの[ホーム]タブのバージョン コントロールカテゴリにはこれらのアプリケーションは表示されませんが、カテゴリ自体が表示されません。[インテグレートド エージェント]の下のリンクをクリックすると、「アプリケーションは存在しません」というメッセージを含むページが表示されます。

解決策：Windowsでは、関連付けられたWin32サービスを停止します。サーバ上のHPバージョン コントロール エージェントまたはHPバージョン コントロール レポジトリ マネージャのWin32サービスを再起動する必要があります。サービスが自動で開始されるように設定されていない場合は、サービスが自動で開始されるように設定してください。サービスが、予測しないタイミングで停止する場合は、[Windows NT イベント ログ]とアプリケーション ログを調べて、詳しい情報を確認してください。

Linuxでは、関連付けられたVCAデーモン プロセスを停止し、[root]ユーザで/etc/init.d/hpvca restartを実行して、VCAデーモンを再起動してください。

サービスおよびサポート

HPバージョン コントロール エージェント (VCA) に対するサポートは、基本となるハードウェアのサポートの補助として提供されています。HPサポート ページは、製品、サービス、およびサポートに関するさまざまなリソースを提供するために用意されています。特に、このページは次のような用途に使用できます。

- <http://www.hp.com/jp/servers/proliantessentials>にアクセスしてください。このWebサイトは、システム管理製品専用です。このサイトには、豊富な製品情報やサービス関連情報が掲載されています。
- HPのサポート ホーム ページやWebサイトにアクセスしてください。電話番号、オンライン ツール、および情報が掲載されています。
- HP製品についてのご質問は、HPサポート フォーラムにお問い合わせください。HPサポート フォーラムのURL (英語) は、<http://forums.itrc.hp.com/> (英語) にあります。

各自の設定を詳しく記録しておくこと、トラブルシューティング プロセスを大幅にスピードアップできます。HPのサービス窓口からサポートを受ける場合は、以下を参照してください。

- 管理PCのメーカー、モデル、およびシリアル番号情報
- バージョン番号、適用されたすべてのService Packのリスト、HP PSPのバージョン、および適用されたInsightマネジメント エージェントの名前とバージョンなどの、オペレーティング システム情報
- ハードウェア設定情報
 - Surveyユーティリティの出力、またはHP Insight Diagnosticsからの出力、または[システムの参照(Inspect)]の印刷出力
 - システム コンフィギュレーション ユーティリティの印刷出力
 - [システムの参照 (Inspect)]ユーティリティまたは[システム コンフィギュレーション] ユーティリティの印刷出力に示されない、HP製およびコンパック製以外の装置の説明

Windowsイベント

下の表は、VCAに適用されるWindowsイベントのリストを表示しています。

イベントID	ファシリティ	深刻度	説明
28	アプリケーション	情報	インストール タスクは成功しました。VCAログURL
53	アプリケーション	情報	コンフィギュレーション タスクは成功しました。VCAログURL
60	アプリケーション	情報	VCAは開始されました（通常開始）。
65	アプリケーション	情報	VCAWin32サービスが停止しました。
208	アプリケーション	エラー	インストール タスクは失敗しました。VCAログURL
503	アプリケーション	エラー	コンフィギュレーション タスクは失敗しました。VCAログURL
604	アプリケーション	エラー	VCAWin32サービスを正常に開始できませんでした。

関連項目

- [ホーム ページ](#)
- [ログ ページ](#)
- [ソフトウェアのナビゲート](#)

第7章 ご注意

保証

本書内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard Companyは、本書についていかなる保証（商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む）も与えるものではありません。当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

Hewlett-Packard製品に適用される特定保証条項の複写、および交換部品は、最寄の販売保守事務所から入手できます。

米国政府ライセンス

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett-Packard Companyから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダ標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権表示

© Copyright 2004-2007 Hewlett-Packard Development Company, LP All rights reserved. 本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

商標表示

すべてのHP 9000コンピュータのHP-UX Release 10.20以上とHP-UX Release 11.00以上（32ビット設定と64ビット設定の両方）は、Open Group UNIX 95ブランド製品です。

IntelおよびItaniumは、米国ならびにその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。

Javaは、Sun Microsystems, Inc.の米国における商標です。

MS-DOS®、Microsoft®およびWindows®は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

リビジョン履歴

出版履歴

改訂 第14版 2008年11月

MPN：367262-197。第14版は、IPv6 L1およびL2、SASおよびSATAディスク ドライブ ファームウェア Smartコンポーネント、およびLinux SCEXEコンポーネントのサポートを追加しました。

改訂 第13版 2008年3月

MPN：367262-196。第13版は、HP VCA v2.1.10リリースで新しいオペレーティング システムおよびブラウザのサポートを追加し、オンライン ヘルプを2ヶ国語に翻訳しました。

改訂 第12版 2007年4月

MPN：367262-195。第12版は、HP VCA v2.1.8リリースで新しいオペレーティング システムおよびブラウザのサポートを追加し、オンライン ヘルプを2ヶ国語に翻訳しました。

改訂 第11版 2007年1月

MPN：367262-194。第11版は、HP VCA v2.1.7リリースで新しいオペレーティング システムおよびブラウザのサポートを追加し、オンライン ヘルプを2ヶ国語に翻訳しました。

改訂 第10版 2006年2月

MPN：367262-193。第10版は、HP VCA v2.1.6リリースで新しいオペレーティング システムおよびブラウザのサポートを追加し、オンライン ヘルプを2ヶ国語に翻訳しました。

ライセンス適用

ソフトウェアのライセンス

HPバージョンコントロールエージェント（VCA）には、次の表に示した他社製のオープンソースおよび私有ソフトウェアが含まれています。厳密には、開発され取得したコードは、次に記載された使用許諾済みの補助ソフトウェアから構成されています。インストール、コピー、または製品（エンドユーザーライセンス契約書に定義されている）を使用することは、条項をレビューしたか否かに関わらず、Ancillary Softwareライセンスの条項に受諾し成立したものとみなされます。

HPバージョンコントロールエージェント - 他社製品のライセンス

使用許諾済みの補助ソフトウェア	他社製品
Xerces	Apache Software Foundation - http://www.apache.org
Xalan	Apache Software Foundation - http://www.apache.org
Gcc v3.2.2 (Linuxバージョンのみ)	GNU Project - http://www.gnu.org
OpenSSL	OpenSSL Project - http://www.openssl.org
OpenSSLey	OpenSSL Project - http://www.openssl.org
Zlib圧縮ライブラリ	Zlib圧縮ライブラリ - http://www.zlib.org
Namazu 2.0.16	Namazu Project http://www.namazu.org
Libxalan c v1.7.0	Apache Software Foundation - http://www.apache.org
libstdc++. V 5.0.2 9	Free Software Foundation, Inc
libsnmp Version 4.1.1	Carnegie Mellon University
MS RTL	Microsoft C Runtime library for VS2005

関連項目

- Apache
- GNU
- Carnegie Melon
- Xalan
- Microsoft
- OpenSSL
- Zlib圧縮ライブラリ

Apache

Apache license 2.0

January 2004

<http://www.apache.org>

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as

an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

関連項目

- [ライセンス適用](#)
- [GNU](#)
- [Carnegie Melon](#)

- Xalan
- Microsoft
- OpenSSL
- Zlib圧縮ライブラリ

GNU

GNU general public license

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it. Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

4. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;
or
 - b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
or
 - c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
6. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
7. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
8. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

9. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
10. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
11. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

12. Because the program is licensed free of charge, there is no warranty for the program, to the extent permitted by applicable law. Except when otherwise stated in writing, the copyright holders and/or other parties provide the program "as is" without warranty of any kind, either expressed or implied, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular

purpose. The entire risk as to the quality and performance of the program is with you. Should the program prove defective, you assume the cost of all necessary servicing, repair or correction.

13. In no event, unless required by applicable law or agreed to in writing, will any copyright holder or any other party who may modify and/or redistribute the program as permitted above, be liable to you for damages, including any general, special, incidental or consequential damages arising out of the use or inability to use the program (including but not limited to loss of data or data being rendered inaccurate or losses sustained by you or third parties or a failure of the program to operate with any other programs), even if such holder or other party has been advised of the possibility of such damages.

END OF TERMS AND CONDITIONS

GNU lesser general public license

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. The modified work must itself be a software library.
 - b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is

invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy. This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law. If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
 - a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
 - b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
 - c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
 - d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
 - e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy. For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or

otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

関連項目

- ライセンス適用
- Apache
- Carnegie Mellon
- Xalan
- Microsoft
- OpenSSL
- Zlib圧縮ライブラリ

Carnegie Mellon

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work

Copyright 1996, 1998, 1999, 2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

関連項目

- ライセンス適用
- Apache
- GNU
- Xalan
- Microsoft
- OpenSSL
- Zlib圧縮ライブラリ

Xalan

Apacheソフトウェア ライセンス

Version 1.1

Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>). "Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear. *

The names "Xalan" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.

Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, Lotus Development Corporation., <http://www.lotus.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

関連項目

- [ライセンス適用](#)
- [Apache](#)

Microsoft

MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS

MICROSOFT VISUAL STUDIO 2005 TEAM SUITE

These license terms are an agreement between Microsoft Corporation (or based on where you live, one of its affiliates) and you. Please read them. They apply to the software named above, which includes the media on which you received it, if any. The terms also apply to any Microsoft

- updates,
- supplements,
- Internet-based services, and
- support services

for this software, unless other terms accompany those items. If so, those terms apply.

BY USING THE SOFTWARE, YOU ACCEPT THESE TERMS. IF YOU DO NOT ACCEPT THEM, DO NOT USE THE SOFTWARE. INSTEAD, RETURN IT TO THE RETAILER FOR A REFUND OR CREDIT. If you cannot obtain a refund there, contact Microsoft or the Microsoft affiliate serving your country for information about Microsoft's refund policies. See <http://www.microsoft.com/worldwide>. In the United States and Canada, call (800) MICROSOFT or see <http://www.microsoft.com/info/nareturns.htm>.

AS DESCRIBED BELOW, USING SOME FEATURES ALSO OPERATES AS YOUR CONSENT TO THE TRANSMISSION OF CERTAIN STANDARD COMPUTER INFORMATION FOR INTERNET-BASED SERVICES.

NOTICE: APPLICATIONS AND SERVICES BUILT WITH MICROSOFT VISUAL J# 2005 WILL RUN ONLY IN THE MICROSOFT .NET FRAMEWORK. VISUAL J# 2005 HAS BEEN INDEPENDENTLY DEVELOPED BY MICROSOFT. IT IS NOT ENDORSED OR APPROVED BY SUN MICROSYSTEMS, INC.

IF YOU COMPLY WITH THESE LICENSE TERMS, YOU HAVE THE RIGHTS BELOW FOR EACH LICENSE YOU ACQUIRE.

1. OVERVIEW.

- Software.The software includes development tools, software programs and documentation.
- License Model.The software is licensed on a per user basis.

2. INSTALLATION AND USE RIGHTS.

- General.One user may install and use copies of the software to design, develop, test and demonstrate your programs.Testing does not include staging on a server in a production environment, such as loading content prior to production use.
- Included Microsoft Programs.These license terms apply to all Microsoft programs included with the software.If the license terms with any of those programs give you other rights that do not expressly conflict with these license terms, you also have those rights.
- Third Party Programs.The software contains third party programs.The license terms with those programs apply to your use of them.

3. ADDITIONAL LICENSING REQUIREMENTS AND/OR USE RIGHTS.

- User Testing.Your end users may access the software to perform acceptance tests on your programs.
- Windows Server 2003 Terminal Services.Up to 200 anonymous users at a time may use the Terminal Services feature of the Windows Server software to access Internet demonstrations of your programs.Your demonstration must not use production data.
- Distributable Code.The software contains code that you are permitted to distribute in programs you develop if you comply with the terms below.
 - Right to Use and Distribute.The code and text files listed below are "Distributable Code."
 - REDIST.TXT Files.You may copy and distribute the object code form of code listed in REDIST.TXT files.
 - Sample Code.You may modify, copy, and distribute the source and object code form of code marked as "sample."
 - Microsoft Merge Modules.You may copy and distribute the unmodified output of Microsoft Merge Modules.
 - MFCs, ATIs and CRTs.You may modify the source code form of Microsoft Foundation Classes (MFCs), Active Template Libraries (ATIs), and C runtimes (CRTs) to design, develop and test your programs, and copy and distribute the object code form of your modified files under a new name.
 - MDAC.You may copy and distribute the object code form of the MDAC_TYP.EXE file.
 - Image Library. You may copy and distribute images and animations in the Image Library as described in the software documentation. You may also modify that content. If you modify the content, it must be for use that is consistent with the permitted use of the unmodified content
 - Third Party Distribution.You may permit distributors of your programs to copy and distribute the Distributable Code as part of those programs.
 - Distribution Requirements.For any Distributable Code you distribute, you must
 - add significant primary functionality to it in your programs;
 - require distributors and external end users to agree to terms that protect it at least as much as this agreement;
 - display your valid copyright notice on your programs; and
 - indemnify, defend, and hold harmless Microsoft from any claims, including attorneys' fees, related to the distribution or use of your programs.
 - Distribution Restrictions.You may not
 - alter any copyright, trademark or patent notice in the Distributable Code;
 - use Microsoft's trademarks in your programs' names or in a way that suggests your programs come from or are endorsed by Microsoft;
 - distribute Distributable Code to run on a platform other than the Windows platform;

- include Distributable Code in malicious, deceptive or unlawful programs; or
 - modify or distribute the source code of any Distributable Code so that any part of it becomes subject to an Excluded License. An Excluded License is one that requires, as a condition of use, modification or distribution, that
 - the code be disclosed or distributed in source code form; or
 - others have the right to modify it.
 - Additional Functionality. Microsoft may provide additional functionality for the software. Other license terms and fees may apply.
4. INTERNET-BASED SERVICES. Microsoft provides Internet-based services with the software. It may change or cancel them at any time.
- Consent for Internet-Based Services. The software feature described below connects to Microsoft or service provider computer systems over the Internet. In some cases, you will not receive a separate notice when they connect. You may switch off this feature or not use it. For more information about this feature, see the software documentation. BY USING THIS FEATURE, YOU CONSENT TO THE TRANSMISSION OF THIS INFORMATION. Microsoft does not use the information to identify or contact you.

Computer Information. The following feature uses Internet protocols, which send to the appropriate systems computer information, such as your Internet protocol address, the type of operating system, browser and name and version of the software you are using, and the language code of the device where you installed the software. Microsoft uses this information to make the Internet-based service available to you.

 - Digital Certificates. The software uses digital certificates. These digital certificates confirm the identity of Internet users sending X.509 standard encrypted information. The software retrieves certificates and updates certificate revocation lists. These security features operate only when you use the Internet.
 - Misuse of Internet-based Services. You may not use this service in any way that could harm it or impair anyone else's use of it. You may not use the service to try to gain unauthorized access to any service, data, account or network by any means.
5. TIME-SENSITIVE SOFTWARE. If the version of the software is a trial version, the software will stop running one hundred eighty days after you install it. You will receive notice before it stops running. You may not be able to access data used with the software when it stops running.
6. PRODUCT KEYS. The software requires a key to install or access it. You are responsible for the use of keys assigned to you. You should not share the keys with third parties.
7. MICROSOFT WINDOWS SOFTWARE. The software contains the Microsoft .NET Framework 2.0 and Microsoft Data Access Component 2.8 SP1 software. These software are part of Windows. The license terms for Windows apply to your use of the .NET Framework 2.0 and Microsoft Data Access Component software.
8. SQL SERVER BENCHMARK TESTING. You must obtain Microsoft's prior written approval to disclose to a third party the results of any benchmark test of the SQL Server software that accompanies this software.
9. MICROSOFT .NET FRAMEWORK BENCHMARK TESTING. The software includes the .NET Framework component of the Windows operating systems (".NET Component"). You may conduct internal benchmark testing of the .NET Component. You may disclose the results of any benchmark test of the .NET Component, provided that you comply with the following terms: (1) you must disclose all the information necessary for replication of the tests, including complete and accurate details of your benchmark testing methodology, the test scripts/cases, tuning parameters applied, hardware and software platforms tested, the name and version number of any third party testing tool used to conduct the testing, and complete source code for the benchmark suite/harness that is developed by or for you and used to test both the .NET Component and the competing implementation(s); (2) you must disclose the date (s) that you conducted the benchmark tests, along with specific version information for all Microsoft software products tested, including the .NET Component; (3) your benchmark testing was performed using all performance tuning and best practice guidance set forth in the product documentation and/or on Microsoft's support web sites, and uses the latest updates, patches and fixes available for the .NET Component and the relevant Microsoft operating system; (4) it shall be sufficient if you make the disclosures provided for above at a publicly available location such as a website, so long as every public disclosure of the results

of your benchmark test expressly identifies the public site containing all required disclosures; and (5) nothing in this provision shall be deemed to waive any other right that you may have to conduct benchmark testing. The foregoing obligations shall not apply to your disclosure of the results of any customized benchmark test of the .NET Component, whereby such disclosure is made under confidentiality in conjunction with a bid request by a prospective customer, such customer's application(s) are specifically tested and the results are only disclosed to such specific customer. Notwithstanding any other agreement you may have with Microsoft, if you disclose such benchmark test results, Microsoft shall have the right to disclose the results of benchmark tests it conducts of your products that compete with the .NET Component, provided it complies with the same conditions above.

10. **SCOPE OF LICENSE.** The software is licensed, not sold. This agreement only gives you some rights to use the software. Microsoft reserves all other rights. Unless applicable law gives you more rights despite this limitation, you may use the software only as expressly permitted in this agreement. In doing so, you must comply with any technical limitations in the software that only allow you to use it in certain ways. For more information, see www.microsoft.com/licensing/userights. You may not
 - work around any technical limitations in the software;
 - reverse engineer, decompile or disassemble the software, except and only to the extent that applicable law expressly permits, despite this limitation;
 - make more copies of the software than specified in this agreement or allowed by applicable law, despite this limitation;
 - publish the software for others to copy;
 - rent, lease or lend the software; or
 - use the software for commercial software hosting services.
11. **BACKUP COPY.** You may make one backup copy of the software. You may use it only to reinstall the software.
12. **DOCUMENTATION.** Any person that has valid access to your computer or internal network may copy and use the documentation for your internal, reference purposes.
13. **NOT FOR RESALE SOFTWARE.** You may not sell software marked as "NFR" or "Not for Resale."
14. **ACADEMIC EDITION SOFTWARE.** You must be a "Qualified Educational User" to use software marked as "Academic Edition" or "AE." If you do not know whether you are a Qualified Educational User, visit www.microsoft.com/education or contact the Microsoft affiliate serving your country.
15. **UPGRADE.** If this software is marked as an upgrade version, you may use it only if you have a license to use the software eligible for upgrade. If you upgrade, this software takes the place of the earlier version, and this agreement takes the place of the agreement for that earlier version. You may use the earlier version only as permitted in the Downgrade clause below.
16. **DOWNGRADE.** You may install and use this version and an earlier version of the software at the same time. This agreement applies to your use of the earlier version. If the earlier version includes different components, any terms for those components in the agreement that comes with the earlier version apply to your use of them. Microsoft is not obligated to supply earlier versions to you.
17. **TRANSFER TO A THIRD PARTY.** The first user of the software may transfer it, and this agreement, directly to a third party. Before the transfer, that party must agree that this agreement applies to the transfer and use of the software. The first user must uninstall the software before transferring it separately from the device. The first user may not retain any copies.
18. **EXPORT RESTRICTIONS.** The software is subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.
19. **SUPPORT SERVICES.** Microsoft provides support services for the software as described at www.support.microsoft.com/common/international.aspx.
20. **ENTIRE AGREEMENT.** This agreement (including the warranty below), and the terms for supplements, updates, Internet-based services and support services that you use, are the entire agreement for the software and support services.
21. **APPLICABLE LAW.**
 - United States. If you acquired the software in the United States, Washington state law governs the interpretation of this agreement and applies to claims for breach of it, regardless of conflict of laws

principles. The laws of the state where you live govern all other claims, including claims under state consumer protection laws, unfair competition laws, and in tort.

- Outside the United States. If you acquired the software in any other country, the laws of that country apply.
22. **LEGAL EFFECT.** This agreement describes certain legal rights. You may have other rights under the laws of your state or country. You may also have rights with respect to the party from whom you acquired the software. This agreement does not change your rights under the laws of your state or country if the laws of your state or country do not permit it to do so.
23. **LIMITATION ON AND EXCLUSION OF DAMAGES.** YOU CAN RECOVER FROM MICROSOFT AND ITS SUPPLIERS ONLY DIRECT DAMAGES UP TO THE AMOUNT YOU PAID FOR THE SOFTWARE. YOU CANNOT RECOVER ANY OTHER DAMAGES, INCLUDING CONSEQUENTIAL, LOST PROFITS, SPECIAL, INDIRECT OR INCIDENTAL DAMAGES.

This limitation applies to

- anything related to the software, services, content (including code) on third party Internet sites, or third party programs; and
- claims for breach of contract, breach of warranty, guarantee or condition, strict liability, negligence, or other tort to the extent permitted by applicable law.

It also applies even if

- repair, replacement or a refund for the software does not fully compensate you for any losses; or
- Microsoft knew or should have known about the possibility of the damages.

Some states do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the above limitation or exclusion may not apply to you. They also may not apply to you because your country may not allow the exclusion or limitation of incidental, consequential or other damages.

LIMITED WARRANTY

1. **LIMITED WARRANTY.** If you follow the instructions, the software will perform substantially as described in the Microsoft materials that you receive in or with the software.
2. **TERM OF WARRANTY; WARRANTY RECIPIENT; LENGTH OF ANY IMPLIED WARRANTIES.** THE LIMITED WARRANTY COVERS THE SOFTWARE FOR ONE YEAR AFTER ACQUIRED BY THE FIRST USER. IF YOU RECEIVE SUPPLEMENTS, UPDATES, OR REPLACEMENT SOFTWARE DURING THAT YEAR, THEY WILL BE COVERED FOR THE REMAINDER OF THE WARRANTY OR 30 DAYS, WHICHEVER IS LONGER. IF the first user transfers the software, the remainder of the warranty will apply to the recipient.
TO THE EXTENT PERMITTED BY LAW, ANY IMPLIED WARRANTIES, GUARANTEES OR CONDITIONS LAST ONLY DURING THE TERM OF THE LIMITED WARRANTY. Some states do not allow limitations on how long an implied warranty lasts, so these limitations may not apply to you. They also might not apply to you because some countries may not allow limitations on how long an implied warranty, guarantee or condition lasts.
3. **EXCLUSIONS FROM WARRANTY.** This warranty does not cover problems caused by your acts (or failures to act), the acts of others, or events beyond Microsoft's reasonable control.
4. **REMEDY FOR BREACH OF WARRANTY.** MICROSOFT WILL REPAIR OR REPLACE THE SOFTWARE AT NO CHARGE. IF MICROSOFT CANNOT REPAIR OR REPLACE IT, MICROSOFT WILL REFUND THE AMOUNT SHOWN ON YOUR RECEIPT FOR THE SOFTWARE. IT WILL ALSO REPAIR OR REPLACE SUPPLEMENTS, UPDATES AND REPLACEMENT SOFTWARE AT NO CHARGE. IF MICROSOFT CANNOT REPAIR OR REPLACE THEM, IT WILL REFUND THE AMOUNT YOU PAID FOR THEM, IF ANY. YOU MUST UNINSTALL THE SOFTWARE AND RETURN ANY MEDIA AND OTHER ASSOCIATED MATERIALS TO MICROSOFT WITH PROOF OF PURCHASE TO OBTAIN A REFUND. THESE ARE YOUR ONLY REMEDIES FOR BREACH OF THE LIMITED WARRANTY.
5. **CONSUMER RIGHTS NOT AFFECTED.** YOU MAY HAVE ADDITIONAL CONSUMER RIGHTS UNDER YOUR LOCAL LAWS, WHICH THIS AGREEMENT CANNOT CHANGE.
6. **WARRANTY PROCEDURES.** You need proof of purchase for warranty service.

1. United States and Canada. For warranty service or information about how to obtain a refund for software acquired in the United States and Canada, contact Microsoft at
 - (800) MICROSOFT;
 - Microsoft Customer Service and Support, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399; or
 - visit <http://www.microsoft.com/info/nareturns.htm>.
2. Europe, Middle East and Africa. If you acquired the software in Europe, the Middle East or Africa, Microsoft Ireland Operations Limited makes this limited warranty. To make a claim under this warranty, you should contact either
 - Microsoft Ireland Operations Limited, Customer Care Centre, Atrium Building Block B, Carmanhall Road, Sandyford Industrial Estate, Dublin 18, Ireland; or
 - the Microsoft affiliate serving your country (see www.microsoft.com/worldwide).
3. Outside United States, Canada, Europe, Middle East and Africa. If you acquired the software outside the United States, Canada, Europe, the Middle East and Africa, contact the Microsoft affiliate serving your country (see www.microsoft.com/worldwide).
4. NO OTHER WARRANTIES. THE LIMITED WARRANTY IS THE ONLY DIRECT WARRANTY FROM MICROSOFT. MICROSOFT GIVES NO OTHER EXPRESS WARRANTIES, GUARANTEES OR CONDITIONS. WHERE ALLOWED BY YOUR LOCAL LAWS, MICROSOFT EXCLUDES IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT. If your local laws give you any implied warranties, guarantees or conditions, despite this exclusion, your remedies are described in the Remedy for Breach of Warranty clause above, to the extent permitted by your local laws.
5. LIMITATION ON AND EXCLUSION OF DAMAGES FOR BREACH OF WARRANTY. THE LIMITATION ON AND EXCLUSION OF DAMAGES CLAUSE ABOVE APPLIES TO BREACHES OF THIS LIMITED WARRANTY.

THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS, AND YOU MAY ALSO HAVE OTHER RIGHTS WHICH VARY FROM STATE TO STATE. YOU MAY ALSO HAVE OTHER RIGHTS WHICH VARY FROM COUNTRY TO COUNTRY.

Please note: As this software is distributed in Quebec, Canada, some of the clauses in this agreement are provided below in French.

Remarque : Ce logiciel étant distribué au Québec, Canada, certaines des clauses dans ce contrat sont fournies ci-dessous en français.

GARANTIE LIMITÉE

1. GARANTIE LIMITÉE. Si vous suivez les instructions, le logiciel fonctionnera dans son ensemble comme il est décrit dans la documentation de Microsoft reçue avec ou dans le logiciel.
2. DURÉE DE LA GARANTIE ; BÉNÉFICIAIRE DE LA GARANTIE ; DURÉE DE TOUTE GARANTIE IMPLICITE. La garantie limitée couvre le logiciel pendant un an après son acquisition par le premier utilisateur. Si vous recevez des compléments, des mises à jour ou un logiciel de remplacement au cours de cette année, ils seront couverts par la garantie pendant la durée restante ou pendant 30 jours, la période la plus longue étant retenue. Si le premier utilisateur transfère le logiciel, la durée restante de la garantie s'applique au destinataire.

Dans la limite autorisée par la loi en vigueur, toute garantie ou condition implicite dont vous bénéficiez prendra fin au terme de la garantie limitée. Certains États n'autorisent pas les limitations portant sur la durée d'une garantie implicite, de sorte que les limitations ci-dessus peuvent ne pas vous être applicables. Elles peuvent également ne pas vous être applicables, car certains pays n'autorisent pas les limitations portant sur la durée d'une garantie ou condition implicite.

3. EXCLUSIONS DE LA GARANTIE. Cette garantie ne couvre pas les problèmes engendrés par vos propres actes (ou absences d'actes), ceux de tiers ou tout autre événement indépendant de la volonté de Microsoft.
4. RECOURS DANS LE CADRE DE LA VIOLATION DE GARANTIE. Nous nous engageons à réparer ou à remplacer le logiciel gratuitement. Si nous ne pouvons pas le réparer ni le remplacer, nous rembourserons le montant que vous avez payé pour le logiciel figurant sur le reçu. Nous nous engageons à réparer ou à remplacer les compléments, les mises à jour et le logiciel de remplacement gratuitement. Si nous ne

pouvons pas les réparer ni les remplacer, nous rembourserons le montant que vous avez payé pour ces composants, le cas échéant. Vous devez désinstaller le logiciel et le renvoyer à Microsoft avec une preuve d'achat pour vous faire rembourser. Ces recours sont les seuls dont vous disposez dans le cadre de la violation de garantie limitée.

5. DROITS DES CONSOMMATEURS NON AFFECTÉS. Vous pouvez bénéficier de droits des consommateurs supplémentaires dans le cadre du droit local, que ce contrat ne peut modifier.
6. PROCÉDURES RELATIVES AUX RÉCLAMATIONS DANS LE CADRE DE LA GARANTIE. Vous devez fournir une preuve d'achat pour obtenir de l'aide en matière de garantie.
 1. États-Unis et Canada. Pour obtenir de l'aide en matière de garantie ou des informations sur la procédure à suivre pour vous faire rembourser un logiciel acquis aux États-Unis et au Canada, mettez-vous en rapport avec Microsoft
 - (800) MICROSOFT ;
 - Microsoft Customer Service and Support, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399 ; ou
 - en visitant </info/nareturns.htm>.
 2. Europe, Moyen-Orient et Afrique. Si vous avez acquis le logiciel en Europe, au Moyen-Orient ou en Afrique, Microsoft Ireland Operations Limited offre cette garantie limitée. Pour faire une réclamation au titre de cette garantie, vous devez vous mettre en rapport avec
 - Microsoft Ireland Operations Limited, Customer Care Centre, Atrium Building Block B, Carmanhall Road, Sandyford Industrial Estate, Dublin 18, Irlande ; ou
 - votre filiale nationale de Microsoft (visitez le site www.microsoft.com/worldwide).
 3. En dehors des États-Unis, du Canada, de l'Europe, du Moyen-Orient et de l'Afrique. Si vous avez acquis le logiciel en dehors des États-Unis, du Canada, de l'Europe, du Moyen-Orient et de l'Afrique, mettez-vous en rapport avec votre filiale nationale de Microsoft (visitez le site www.microsoft.com//worldwide).
7. AUCUNE AUTRE GARANTIE. La garantie limitée est la seule garantie directe de Microsoft. Nous n'accordons aucune autre garantie ou condition expresse. Dans toute la mesure permise par le droit local, les garanties implicites de qualité marchande, d'adéquation à un usage particulier et d'absence de contrefaçon sont exclues. Si le droit local vous accorde des garanties ou conditions implicites, nonobstant la présente exclusion, les recours dont vous disposez sont ceux présentés dans la clause de recours dans le cadre de la violation de garantie ci-dessus, dans la limite autorisée par le droit local.
8. LIMITATION DES DOMMAGES-INTÉRÊTS ET EXCLUSION DE RESPONSABILITÉ DANS LE CADRE DE LA VIOLATION DE GARANTIE. La clause de limitation des dommages-intérêts et exclusion de responsabilité ci-dessous s'applique aux violations de cette garantie limitée.

La présente garantie vous confère des droits légaux spécifiques et vous pouvez également bénéficier d'autres droits qui varient d'un État à l'autre. Vous pouvez également bénéficier d'autres droits qui varient d'un pays à l'autre.

LIMITATION DES DOMMAGES-INTÉRÊTS ET EXCLUSION DE RESPONSABILITÉ POUR LES DOMMAGES. Vous pouvez obtenir de Microsoft et de ses fournisseurs une indemnisation en cas de dommages directs uniquement à hauteur du montant que vous avez payé pour le logiciel. Vous ne pouvez prétendre à aucune indemnisation pour les autres dommages, y compris les dommages spéciaux, indirects ou accessoires et pertes de bénéfices.

Cette limitation concerne

- toute affaire liée au logiciel, aux services ou au contenu (y compris le code) figurant sur des sites Internet tiers ou dans des programmes tiers ; et
- les réclamations au titre de violation de contrat ou de garantie ou condition, ou au titre de responsabilité stricte, de négligence ou d'une autre faute dans la limite autorisée par la loi en vigueur.

Elle s'applique également, même si

- la réparation, le remplacement ou le remboursement du logiciel ne compense pas intégralement toute perte subie ; ou
- Microsoft connaissait l'éventualité d'un tel dommage.

Certains États n'autorisent pas l'exclusion ou la limitation de responsabilité pour les dommages indirects ou accessoires, de sorte que la limitation ou l'exclusion ci-dessus peut ne pas vous être applicable. Elles peuvent

également ne pas vous être applicables, car votre pays n'autorise pas l'exclusion ou la limitation de responsabilité pour les dommages indirects, accessoires ou de quelque nature que ce soit.

EFFET JURIDIQUE. Le présent contrat décrit certains droits juridiques. Vous pourriez avoir d'autres droits prévus par les lois de votre État ou pays. Vous pourriez également avoir des droits à l'égard de la partie de qui vous avez acquis de logiciel. Le présent contrat ne modifie pas les droits que vous confèrent les lois de votre État ou pays si celles-ci ne le permettent pas.

Visual C++ Runtime Files

The following list is a list of files available with Microsoft Visual Studio 2005 for redistribution under the Visual Studio 2005 license. If the Microsoft software you have licensed is not Visual Studio 2005, only the files that are installed by the Microsoft software may be redistributed under such license.

Visual C++ Runtime files

Subject to the license terms for the software, you may redistribute the .EXE files (unmodified) listed below. These files can be run as prerequisites during installation.

- vcredist_x86.exe
- vcredist_x64.exe
- vcredist_IA64.exe

Subject to the license terms for the software, you may redistribute MSM files listed below unmodified as a part of your installation package:

- Microsoft_VC80_ATL_x86.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_ATL_x86.msm
- Microsoft_VC80_ATL_x86_ia64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_ATL_x86_ia64.msm
- Microsoft_VC80_ATL_x86_x64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_ATL_x86_x64.msm
- Microsoft_VC80_CRT_x86.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_CRT_x86.msm
- Microsoft_VC80_CRT_x86_ia64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_CRT_x86_ia64.msm
- Microsoft_VC80_CRT_x86_x64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_CRT_x86_x64.msm
- Microsoft_VC80_MFC_x86.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFC_x86.msm
- Microsoft_VC80_MFC_x86_ia64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFC_x86_ia64.msm
- Microsoft_VC80_MFC_x86_x64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFC_x86_x64.msm
- Microsoft_VC80_MFCLOC_x86.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFCLOC_x86.msm
- Microsoft_VC80_MFCLOC_x86_ia64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFCLOC_x86_ia64.msm
- Microsoft_VC80_MFCLOC_x86_x64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_MFCLOC_x86_x64.msm
- Microsoft_VC80_OpenMP_x86.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_OpenMP_x86.msm

- Microsoft_VC80_OpenMP_x86_ia64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_OpenMP_x86_ia64.msm
- Microsoft_VC80_OpenMP_x86_x64.msm
- policy_8_0_Microsoft_VC80_OpenMP_x86_x64.msm

For your convenience, we have provided the following folders for use when redistributing VC++ runtime files. Subject to the license terms for the software, you may redistribute the folder (unmodified) in the application local folder as a sub-folder with no change to the folder name. You may also redistribute all the files (*.dll and *.manifest) within a folder, listed below the folder for your convenience, as an entire set.

- \VC\redist\x86\Microsoft.VC80.ATL\
 - atl80.dll
 - Microsoft.VC80.ATL.manifest
- \VC\redist\ia64\Microsoft.VC80.ATL\
 - atl80.dll
 - Microsoft.VC80.ATL.manifest
- \VC\redist\amd64\Microsoft.VC80.ATL\
 - atl80.dll
 - Microsoft.VC80.ATL.manifest
- \VC\redist\x86\Microsoft.VC80.CRT\
 - msvcm80.dll
 - msvcp80.dll
 - msvcr80.dll
 - Microsoft.VC80.CRT.manifest
- \VC\redist\ia64\Microsoft.VC80.CRT\
 - msvcm80.dll
 - msvcp80.dll
 - msvcr80.dll
 - Microsoft.VC80.CRT.manifest
- \VC\redist\amd64\Microsoft.VC80.CRT\
 - msvcm80.dll
 - msvcp80.dll
 - msvcr80.dll
 - Microsoft.VC80.CRT.manifest
- \VC\redist\x86\Microsoft.VC80.MFC\
 - mfc80.dll
 - mfc80u.dll
 - mfc80.dll
 - mfc80u.dll
 - Microsoft.VC80.MFC.manifest
- \VC\redist\ia64\Microsoft.VC80.MFC\
 - mfc80.dll
 -
 - mfc80u.dll

- mfc80.dll
- mfc80u.dll
- Microsoft.VC80.MFC.manifest
- \VC\redist\amd64\Microsoft.VC80.MFC\
 - mfc80.dll
 - mfc80u.dll
 - mfc80.dll
 - mfc80u.dll
 - Microsoft.VC80.MFC.manifest
- \VC\redist\x86\Microsoft.VC80.MFCLOC\
 - mfc80chs.dll
 - mfc80cht.dll
 - mfc80enu.dll
 - mfc80esp.dll
 - mfc80deu.dll
 - mfc80fra.dll
 - mfc80ita.dll
 - mfc80jpn.dll
 - mfc80kor.dll
 - Microsoft.VC80.MFCLOC.manifest
- \VC\redist\ia64\Microsoft.VC80.MFCLOC\
 - mfc80chs.dll
 - mfc80cht.dll
 - mfc80enu.dll
 - mfc80esp.dll
 - mfc80deu.dll
 - mfc80fra.dll
 - mfc80ita.dll
 - mfc80jpn.dll
 - mfc80kor.dll
 - Microsoft.VC80.MFCLOC.manifest
- \VC\redist\amd64\Microsoft.VC80.MFCLOC\
 - mfc80chs.dll
 - mfc80cht.dll
 - mfc80enu.dll
 - mfc80esp.dll
 - mfc80deu.dll
 - mfc80fra.dll
 - mfc80ita.dll
 - mfc80jpn.dll
 - mfc80kor.dll
 - Microsoft.VC80.MFCLOC.manifest

- \VC\redist\x86\Microsoft.VC80.OpenMP\
 - vcomp.dll
 - Microsoft.VC80.OpenMP.manifest
- \VC\redist\amd64\Microsoft.VC80.OpenMP\
 - vcomp.dll
 - Microsoft.VC80.OpenMP.manifest
- \VC\redist\ia64\Microsoft.VC80.OpenMP\
 - vcomp.dll
 - Microsoft.VC80.OpenMP.manifest

Subject to the license terms for the software, the following files can be redistributed with your application in your application local folder or by deploying into the Global Assembly Cache (GAC):

mfc80.dll

Subject to the license terms of the software, one or more of the *.*.pdb files listed below may be redistributed for the sole purpose of debugging your applications.

- atl80.i386.pdb
- atl80.AMD64.pdb
- atl80.IA64.pdb
- msvcm80.i386.pdb
- msvcm80.AMD64.pdb
- msvcm80.IA64.pdb
- msvcp80.i386.pdb
- msvcp80.AMD64.pdb
- msvcp80.IA64.pdb
- msvcr80.i386.pdb
- msvcr80.AMD64.pdb
- msvcr80.IA64.pdb
- mfc80.i386.pdb
- mfc80.AMD64.pdb
- mfc80.IA64.pdb
- mfc80u.i386.pdb
- mfc80u.AMD64.pdb
- mfc80u.IA64.pdb
- mfc80.i386.pdb
- mfc80.AMD64.pdb
- mfc80.IA64.pdb
- mfc80u.i386.pdb
- mfc80u.AMD64.pdb
- mfc80u.IA64.pdb
- vcomp.i386.pdb
- vcomp.AMD64.pdb
- vcomp.IA64.pdb

Smart Device Extensions Files

Subject to the license terms for the software, the following files may be distributed, however, these files are intended only for use with Windows Mobile and Windows CE based devices and may only be distributed with Smart device applications:

- msvcr80.dll
- atl80.dll
- MFC80CHS.DLL
- MFC80CHT.DLL
- MFC80DEU.DLL
- MFC80ENU.DLL
- MFC80ESP.DLL
- MFC80FRA.DLL
- MFC80ITA.DLL
- MFC80JPN.DLL
- MFC80KOR.DLL
- MFC80U.DLL

.NET Framework

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- dotnetfx.exe (X86)
- Netfx64.exe (X64)
- Netfx64.exe (IA64)

langpack.exe (multiple language versions)

Subject to the license terms for the software, the following MSI file may be distributed unmodified:

Wmirdist.msi

.NET Compact Framework Files

For your convenience, we have provided the following installation package (*.MSI) for use when redistributing the .NET Compact Framework dlls. Subject to the license terms for the software, you may redistribute the MSI (unmodified) or one or more of the separate files listed below:

.NET Compact Framework V1:

- ▲ NETCFSetupv1.msi
 - NETCFv1.WCE.ARMV4.CAB
 - NETCFv1.WM.ARMV4I.CAB
 - System_SR_ENU.cab
 - System_SR_JA.cab
 - System_SR_FR.cab
 - System_SR_DE.cab
 - System_SR_ES.cab
 - System_SR_IT.cab
 - System_SR_CHS.cab
 - System_SR_CHT.cab
 - System_SR_KO.cab
 - System_SR_ENU_wm.cab
 - System_SR_JA_wm.cab
 - System_SR_FR_wm.cab

- System_SR_DE_wm.cab
- System_SR_ES_wm.cab
- System_SR_IT_wm.cab
- System_SR_CHS_wm.cab
- System_SR_CHT_wm.cab
- System_SR_KO_wm.cab

For your convenience, we have provided the following installation package (*.MSI) for use when redistributing the .NET Compact Framework dlls. Subject to the license terms for the software, you may redistribute the MSI (unmodified) or one or more of the separate files listed below:

.NET Compact Framework V2:

- ▲ NETCFSetupv2.msi
 - NETCFv2.ppc.armv4.cab
 - NETCFv2.wm.armv4i.cab
 - NETCFv2.wce5.sh4.cab
 - NETCFv2.wce5.mipsii.cab
 - NETCFv2.wce5.mipsiv.cab
 - NETCFv2.wce5.armv4i.cab
 - NETCFv2.wce5.x86.cab
 - System_SR_CHS.CAB
 - System_SR_CHS_wm.cab
 - System_SR_CHT.CAB
 - System_SR_CHT_wm.cab
 - System_SR_DE.CAB
 - System_SR_DE_wm.cab
 - System_SR_ENU.CAB
 - System_SR_ENU_wm.cab
 - System_SR_ES.CAB
 - System_SR_ES_wm.cab
 - System_SR_FR.CAB
 - System_SR_FR_wm.cab
 - System_SR_IT.CAB
 - System_SR_IT_wm.cab
 - System_SR_JA.CAB
 - System_SR_JA_wm.cab
 - System_SR_KO.CAB
 - System_SR_KO_wm.cab
 - System_SR_pt-BR.CAB
 - System_SR_pt-BR_wm.cab

SQL Server Express Files

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- SQLExpr.exe
- SQLExpr32.exe

Runtime Components

Subject to the license terms for the software, the following files may be distributed unmodified:

- MDAC 2.8 SP1 (MDAC_typ.exe)
- Windows Installer 2.0 (InstMSIA.exe/InstMSIW.exe)
- Windows Installer 3.1 (WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe)
- msstdfmt.dll
- vs_piaredist.exe

Images

One or more of the files located in the .zip file below may be distributed subject to the license terms for the software and the additional use terms described in the .zip file.

VisualStudio2005ImageLibrary.zip

Visual Studio Tools for Office Files

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- vstor.exe
- vstolp20.exe

.NET Framework SDK files

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- MageUI.exe
- Mage.exe
- Makecert.exe

Report Viewer files

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- ReportViewer.exe
- ReportViewer-lp.exe

Microsoft Visual J# .NET Files

Subject to the license terms for the software, the following .EXE files may be distributed unmodified:

- vjredist.exe
- vjredist-lp.exe

Microsoft Visual J# .NET is a development tool that developers who are familiar with the Java-language syntax can use to build applications and services on the .NET Framework. It integrates the Java-language syntax into the Visual Studio .NET shell. Microsoft Visual J# .NET also supports the functionality found in VJ++ 6.0 including Microsoft extensions. Microsoft Visual J# .NET is not a tool for developing applications intended to run on a Java Virtual Machine. Applications and services built with Visual J# will run only on the .NET Framework. Visual J# has been independently developed by Microsoft. It is not endorsed or approved by Sun Microsystems, Inc.

関連項目

- [ライセンス適用](#)
- [Apache](#)
- [GNU](#)
- [Carnegie Mellon](#)
- [Xalan](#)
- [OpenSSL](#)
- [Zlib圧縮ライブラリ](#)

OpenSSL

OpenSSLライセンス

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. <http://www.openssl.org>."
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit at <http://www.openssl.org>."

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION.

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL. This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

関連項目

- ライセンス適用
- GNU
- Apache
- Carnegie Mellon
- Xalan
- Microsoft
- Zlib圧縮ライブラリ

Zlib圧縮ライブラリ

zlib/libpngライセンス

END-USER LICENSE AGREEMENT

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.1.3, July 9th, 1998

Copyright (C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.
 - Apache
 - GNU
 - Carnegie Melon
 - Xalan
 - Microsoft
 - OpenSSL

用語集

HP Insight マネジメント エージェント	ユーザが直接その場になくても、定期的に情報を収集し、他のサービスを実行するプログラム。
HP ProLiant および Integrity Support Pack	HP ProLiant および Integrity Support Pack、またはユーザ定義ソフトウェア ベースラインは、HP によって1つにバンドルされ、特定のオペレーティング システムで動作することが確認されたHPのソフトウェア コンポーネントのセットです。ProLiant および Integrity Support Packには、ドライバ コンポーネント、エージェント コンポーネント、およびアプリケーションとユーティリティのコンポーネントが含まれています。これらはすべて一緒にインストールできることが確認されています。
HP Systems Insight Manager	HPのシステム、クラスタ、デスクトップ、ワークステーション、ポータブルなど、さまざまなシステムを管理できるシステム マネジメント ソフトウェアです。 HP SIMは、HP Insight マネージャ7、HP Tootools、HP Servicecontrol マネージャの長所を組み合わせることにより、Windows、Linux、HP-UXを実行しているHP ProLiant システム、Integrity システム、HP 9000 システムを管理する、統一されたツールとしてお使いいただけます。HP SIM ソフトウェアの中核部分では、すべてのHP製サーバ プラットフォームの管理に必要な機能を提供します。また、HP SIMは、HP製ストレージ、電源、クライアント、プリンタ製品用のプラグインにより広範囲なシステム管理を提供するように拡張することもできます。Rapid Deployment Pack、Performance Management Pack、Workload Management Packのプラグインは、ハードウェア資産の完全なライフサイクルの管理機能を追加したソフトウェアをシステム管理者が選択することができます。
HP Web ベース システム マネジメント ソフトウェア	HP製Web対応製品を管理するソフトウェア。
HP バージョン コントロール エージェント	サーバにインストールされたHPのソフトウェアをユーザが確認できるようにするために、そのサーバにインストールされているInsight マネジメント エージェント。VCAは、VCRMに管理されているレポジトリを参照するように設定できるため、バージョンの比較や、レポジトリからそのVCAがインストールされているサーバへのソフトウェアのインストールが簡単になります。
HP バージョン コントロール レポジトリ マネージャ	バージョン コントロール レポジトリと呼ばれるディレクトリ/レポジトリに格納されたHPのソフトウェアを、ユーザが管理できるようにするInsight マネジメント エージェント。
Red Hat Package Manager (RPM)	強力なパッケージ マネージャで、個々のソフトウェア パッケージをビルド、インストール、クエリ、確認、アップデート、およびアンインストールするために使用できます。パッケージは、ファイルのアーカイブと、名前、バージョン、説明などのパッケージ情報で構成されます。
Support Pack のバージョン	VCAがベースラインとして使用するように設定されているリファレンス サポート パックに含まれるHPの特定のソフトウェアのバージョンを表示するフィールド。レポジトリ内には表示されたものよりも新しいバージョンのソフトウェアがあるかもしれませんが、リファレンス サポート パック内では、これが特定のコンポーネントの最新バージョンです。
System Management Homepage	HTTP および HTTPS 経由で通信するHPのHP Web ベース システム マネジメント ソフトウェアで使用されるソフトウェアの統合セット。HP Web ベース システム マネジメント ソフトウェアに一定の機能とセキュリティのセットを提供します。
VCA ログ	VCAによって実行されたすべてのソフトウェア メンテナンス タスクの一覧、およびこれらのタスクの実行結果のレポート。
インストールされているバージョン	VCAがインストールされているサーバにインストールされたHPの特定のソフトウェア コンポーネント。
エージェント設定のレプリケート	Webベースのエージェントの設定を、システムのグループにコピーするために使用できるツール。
グラフィカルユーザインタフェース (GUI)	コンピュータのグラフィック機能を利用して、プログラムを簡単に使用できるようにするプログラム インタフェース。HP SIMのGUIはWeb対応であり、Webブラウザ内に表示されます。

コンポーネント	インストール（対話式またはサイレント インストール）可能な単一の自己記述バイナリ ファイルで、ファームウェア イメージ、ドライバ、エージェント、ユーティリティなど、マネジメント ツールやアップデート ツールでサポートされるソフトウェアを含みます。
シングルログイン	管理対象システムごとに認証を受けなくてもHP SIMから任意の管理対象システムにアクセスできるように、HP SIMにアクセスしている認証済みユーザに与えられる権限。HP SIMは最初の認証ポイントであり、他の管理対象システムにはHP SIMからアクセスする必要があります。
セキュアタスク実行 (STE)	管理対象システムからのタスクの安全な実行。HP SIMのこの機能により、タスクを要求するユーザが、そのタスクを実行するための適切な権限を持っていることが保証されます。また、データを盗聴から保護するために、要求が暗号化されます。
ソフトウェアインベントリ	VCAがインストールされているシステムにインストールされているHPのソフトウェアの一覧。
バージョンコントロール	Windows/Linux ProLiantシステム、およびHP-UXオペレーティング システムのソフトウェア ディストリビュータのために、WindowsシステムにインストールされたVCRMとして呼ばれます。すべての管理対象のProLiantまたはIntegrityシステムにソフトウェア状態の概要を提供して、それらのシステム上でプログラムによりあらかじめ定義された基準でシステム ソフトウェアとファームウェアをアップデートできます。バージョン コントロールは、古いシステム ソフトウェアを実行しているシステムを確認し、アップグレード可能かを表示し、アップグレードする理由を提供します。HP-UXシステムでは、ソフトウェア ディストリビュータは、複数のHP-UXに対してHP SIM CMSから起動することができます。
ユーザ定義ソフトウェアベースライン	ユーザによって、ベースラインとしてバンドルされたHPのソフトウェア コンポーネントのセット。既存のサポート パックの内容を変更することにより、ユーザは、使用環境に適した独自のベースラインを定義できます。
リファレンス サポート パック	VCAがレポジトリ内で参照するように設定できるHPのソフトウェアのバンドルされたベースライン製品。この設定により、ユーザは使用しているソフトウェアをすべて、特定のサポート パック レベルに更新するかどうかを指定できます。
レポジトリ	ProLiantおよびIntegrity Support PackおよびSmartコンポーネントを格納しているディレクトリ。
全体のソフトウェア ステータス	このセクションは、VCAをインストールしたサーバ上のソフトウェアに、監視するように設定されたレポジトリ内に利用できる更新があるかどうかを示します。
利用可能なソフトウェア	VCAが参照するように設定されているレポジトリ内の利用可能なソフトウェア コンポーネントの一覧。VCAに直接アクセスすると、これらの追加コンポーネントを選択してインストールできます。
最新バージョン	レポジトリに格納されているHPの特定のソフトウェア コンポーネントの最新バージョン。
簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)	HP SIMによってサポートされる管理プロトコルのうちの1つ。従来から、ネットワーク システムおよびサーバによって広く使用されている管理プロトコルです。MIB-2は、すべてのベンダに一貫して提供されている標準情報です。

索引

H

HP ProLiantおよびIntegrity Support Pack, 14
HPバージョン コントロール エージェント, 5, 7, 8, 9,
11, 12, 13, 14, 15, 17, 18, 21, 22, 23, 25, 35, 38,
41, 48, 49, 63

I

Internet Explorer
セキュリティ設定, 7

Z

zlib/libpng, 64

あ

アクセス, 8

い

印刷, 18

か

開始するには, 7
概要, 5, 11

こ

更新, 17

さ

サインアウト, 8

し

消去, 22
商標表示, 37

そ

ソフトウェア ステータス, 12

ち

著作権表示, 37

と

トラブルシューティング, 25
リファレンス, 34

な

ナビゲート, 9

ひ

非表示, 15
表示, 5, 12, 13, 14, 15, 21, 22, 35

ふ

ブラウザ エラー, 7

へ

米国政府ライセンス, 37

変更, 15, 23

ほ

報告, 18
法的な注意事項, 37
ホームページ
HPバージョン コントロール エージェント, 11
保証, 37

も

問題

HP SIM, 25
ProLiant Support Pack, 32
アクセス, 29
印刷, 27
エージェント設定のレプリケート, 27
カタログ, 30
その他, 33
ソフトウェア インベントリ, 28
ブラウザ, 29
ログ, 26, 31

ら

ライセンス, 38, 41, 48, 49, 63

り

リファレンス サポート パック, 14
リフレッシュ, 18
リリース履歴, 37

れ

レプリケート, 5

ろ

ログアウト, 8
ログイン, 8